

# 木場潟公園東園地トイレ棟建設工事（建築）

## 図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	(建築)				(構造)
A-00	表紙・図面リスト				
A-01	木造建築工事仕様書 その1	A-21	部分詳細図	S-01	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[1]
A-02	木造建築工事仕様書 その2	A-22	家具キープラン・リスト	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[2]
A-03	木造建築工事仕様書 その3	A-23	サイン図	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[3]
A-04	木造建築工事仕様書 その4	A-24	全体配置図	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[4]
A-05	木造建築工事仕様書 その5			S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[5]
A-06	求積図・面積表			S-06	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[6]
A-07	仕上表			S-07	基礎伏図
A-08	ビット平面図			S-08	土台伏図
A-09	平面図・断面図			S-09	小屋伏図
A-10	立面図			S-10	母屋伏図
A-11	屋根伏図			S-11	軸組図1
A-12	天井伏図			S-12	軸組図2
A-13	矩計図(1)			S-13	軸組図3
A-14	矩計図(2)			S-14	軸組図4
A-15	矩計図(3)			S-15	壁量計算
A-16	平面詳細図			S-16	地盤改良伏図
A-17	展開図				
A-18	建具キープラン				
A-19	建具リスト				
A-20	建具リスト				

**Y&E** 山岸建築設計事務所

質問のある者は  
指定日時までに営繕課へ提出する事。  
現地説明無し。

監 修					
石川 県 土 木 部 営 繕 課					
年 月 日					
課 長	担当課長	課 参 事	課長補佐	GL	担 当



29 電子納品
行う(「電子納品仕様書」による。) ・行わない
電子納品仕様書
1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。
ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

2 章 仮 設 工 事
特 記 事 項
1 監督職員事務所
設ける ・設けない
監督職員事務所の規模(単位:㎡)
種類号 ①1号 2号 3号 4号 5号
面積程度 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度

2 建設発生土の処理
①現場内で処理
・構内指示の場所に堆積
・構外搬出適正処理
③地盤改良
④六価クロム溶出試験
5 既製コンクリート杭地業
1)種類
遠心力高強度プレストレストコンクリート杭

1 ①コンクリート
設計基準強度 21N/mm2
レディミクストコンクリートの種類
JIS表示認定工場として、改正工業標準化法(平成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により認定を受けた(JISマーク表示認証工場)を含む。
①型枠
スリーブに用いる材料
1)型枠(せき板)の種類
2)打放し仕上げの種類

5 章 軸 組 構 法 (壁構造系) 工 事
特 記 事 項
1 ①適用範囲
\*この章は、建築基準法施行令第46条第4項の壁量を満たす建築物に適用する。
2 ②集成材等
\*この章は、建築基準法施行令第46条第2項を適用した軸組の建築物に適用する。
3 ③接合金物・接合具等
接合金物の種類

6 章 軸 組 構 法 (軸構造系) 工 事
特 記 事 項
1 ①適用範囲
\*この章は、建築基準法施行令第46条第2項を適用した軸組の建築物に適用する。
2 ②集成材等
\*この章は、建築基準法施行令第46条第2項を適用した軸組の建築物に適用する。
3 ③接合金物・接合具等
接合金物の種類

5 ⑤接合金物・接合具等
接合金物の種類
①Zマーク表示金物
②Cマーク表示金物
③Dマーク表示金物
④Sマーク表示金物
⑤上記以外(仕様)
⑥アンカーボルトの埋込み
⑦アンカーボルトの埋込み深さ
⑧アンカーボルトの埋込み工法

5 ⑤接合金物・接合具等
接合金物の種類
①Zマーク表示金物
②Cマーク表示金物
③Dマーク表示金物
④Sマーク表示金物
⑤上記以外(仕様)
⑥アンカーボルトの埋込み
⑦アンカーボルトの埋込み深さ
⑧アンカーボルトの埋込み工法



③	金属板葺	金属板の種類及び厚さ 種類 JIS G3322 (塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) 厚さ ①0.4mm ・特殊釘の種類、形状、寸法等 4 平葺(一文字葺) 葺板1枚につき吊子2枚以上 の工法 釘の間隔(一般部) (軒先、けらば) 5 心木なし瓦葺 葺の間隔(一般部) (棟渡り) (軒先) の工法 6 粘土瓦葺 粘土瓦葺の材料等は下記による。 (イ)種類 53A型 口)品質 JIS A5208 (粘土がわら) ハ)色合い 銀黒(いぶし色) 黄金 黒 銀ねずみ(銀) 赤 ニ)産地 県内産 7 とい といの材質 金属板 鋼板 硬質塩化ビニル樹脂 とい、谷といの種類及び板厚等 図示 8 雪止め 硬質塩化ビニル製排水器及びあんこの形等の指定 図示 雪止めの有無 設置する 設置しない (14.3.4)(14.3.6)(14.5.2) 雪止めの仕様 スチールアンクル40°40'5 亜鉛メッキ処理	(14.3.2)(表14.3.1)
	4	平葺(一文字葺)の工法	(14.3.4)
	5	心木なし瓦葺の工法	(14.3.6)
	6	粘土瓦葺の工法	(14.5.2)
	7	とい	(14.8.2)
	8	雪止め	(14.3.4)(14.3.6)(14.5.2)
	15章 金属工事 特記事項		
	項目		

①	1	あと施工アンカーの引抜き耐力試験	適用する 適用しない (15.1.1) 【14.1.3】
	2	ステンレスの表面仕上げ	種類 施工箇所 HL程度 下記以外の見え掛かり全て No 2 B程度 No 8 鏡面仕上げ
	3	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	種類 色合い 施工箇所 B B - 1種 無着色 B B - 2種 ブラウン系 ブラック ステンカラー
	4	鉄鋼の亜鉛めっき	表面処理方法 種類 施工箇所 溶融亜鉛めっき A種 B種 C種 電気亜鉛めっき D種 E種 F種
	16章 左官工事 特記事項		
	項目		
	1	ラス系下地	ラス系下地の種類 【15.2.4】 種類 適用箇所 直張りラスモルタル下地 直張りラスシート下地 通気構法単層下地 通気構法二層下地
	2	木質系セメント板	木質系セメント板の種類 【15.2.5】
	3	小舞下地	材料の種類 【15.2.6】 小舞竹 まだけの割り竹 しのだけの割り竹 しのだけの丸竹 小舞縄 しゅろ 麻 わら縄
	4	木ずり下地	木ずり用小幅板の樹種等 杉 心去り材 【15.2.7】 既調合モルタルの使用 使用する (形状*図示) 【15.3.2】 既製目地材の使用 使用する (形状*図示)
6	しっくい塗り	既調合しっくいの製造所備及び種類 *監督員と協議 【15.10.2】 木ずり下地の場合の仕上げ厚 15mm 【15.10.3】	
7	小舞壁塗り	のりの種類 【15.11.2】 土壁 ぶのり *つのみた ぎんなんそう(銀杏草) 砂壁 ぶのり *つのみた ぎんなんそう(銀杏草)	
8	仕上塗材仕上げ	小舞壁の工程の種類 A種 B種 【15.11.5】 【表15.11.9】 建物内部に使用するウリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 第三種 【15.6.2】 仕上塗材の種類(呼び名)、仕上げの形状及び工法 *図示(仕上表) 【15.6.2】 【表15.6.1】 複層仕上塗材の耐候性 耐候形3種 複層仕上塗材の上塗材の種類 【表15.6.2】	

17章 建具工事 特記事項				
項目				
1	防火戸	防火戸の指定 *図示 【16.1.3】		
2	見本の製作	建具見本の製作 製作する 製作しない 【16.1.4】		
3	アルミニウム製建具	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 A種 B種 D種 【表16.2.2による】 網戸等(網戸の材質) 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス(SUS316)製 建具の枠の見込み寸法 *図示(建具表) 【16.2.3】 水切り板、ぜん板等 *図示 【16.2.5】 外部に面する樹脂製建具の性能等級等の種別 A種 B種 図示(建具表) 【表16.3.1】 建具の枠の見込み寸法 *図示(建具表) 【16.2.5】 外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級の種別 A種 B種 図示(建具表) 【表16.3.2】 外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級の種別 T-A種 T-B種 図示(建具表) 【表16.3.4】 外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級の種別 H-A種 H-B種 H-C種 H 図示(建具表) 【表16.4.2】 外部に面する鋼製建具の耐風圧性 S-S 【16.4.3】 鋼板の亜鉛めっき付着量 Z12又はF12 JIS G3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) Y08 JIS G3317(溶融亜鉛-5%Niめっき鋼板及び鋼帯) Y08 鋼板の厚さ *標仕【表16.4.2】による 【16.4.4】 【表16.4.2】 亜鉛めっき鋼板の適用 *図示(建具表) 【16.5.3】 カラー鋼板の適用 *図示(建具表) 召合せ、縦小口包み板等の材質 鋼板 ステンレス鋼板 アルミニウム合金 表面仕上げ HL仕上げ 図示(建具表) 【16.6.4】 ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ 【16.6.5】 建築内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 第三種 【16.7.2】 【表16.7.1】 建具材の加工、組立時の含水率 A種 B種 C種 【16.7.2】 【表16.7.3】 フラッシュ戸(材料、寸法等) *図示(建具表)、図示されたもの以外は【16.7.2】(2)及び【16.7.3】(1)による。 かまこ戸(かまこ・鏡板の種類、見込み寸法) 図示(建具表) ふすま(上張りの種類) 鳥の子 新鳥の子 ビニル紙 雲花紙(押入等の裏側) # (見込み寸法) 図示(建具表) 戸がすま(見込み寸法) 図示(建具表) 紙張り障子(見込み寸法) 図示(建具表) 図示(建具表)による。 【16.2.2】 【16.4.2】		
4	樹脂製建具	外部に面する樹脂製建具の性能等級等の種別 A種 B種 図示(建具表) 【表16.3.1】 建具の枠の見込み寸法 *図示(建具表) 【16.2.5】 外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級の種別 T-A種 T-B種 図示(建具表) 【表16.3.4】 外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級の種別 H-A種 H-B種 H-C種 H 図示(建具表) 【表16.4.2】 外部に面する鋼製建具の耐風圧性 S-S 【16.4.3】 鋼板の亜鉛めっき付着量 Z12又はF12 JIS G3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) Y08 JIS G3317(溶融亜鉛-5%Niめっき鋼板及び鋼帯) Y08 鋼板の厚さ *標仕【表16.4.2】による 【16.4.4】 【表16.4.2】 亜鉛めっき鋼板の適用 *図示(建具表) 【16.5.3】 カラー鋼板の適用 *図示(建具表) 召合せ、縦小口包み板等の材質 鋼板 ステンレス鋼板 アルミニウム合金 表面仕上げ HL仕上げ 図示(建具表) 【16.6.4】 ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ 【16.6.5】 建築内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 第三種 【16.7.2】 【表16.7.1】 建具材の加工、組立時の含水率 A種 B種 C種 【16.7.2】 【表16.7.3】 フラッシュ戸(材料、寸法等) *図示(建具表)、図示されたもの以外は【16.7.2】(2)及び【16.7.3】(1)による。 かまこ戸(かまこ・鏡板の種類、見込み寸法) 図示(建具表) ふすま(上張りの種類) 鳥の子 新鳥の子 ビニル紙 雲花紙(押入等の裏側) # (見込み寸法) 図示(建具表) 戸がすま(見込み寸法) 図示(建具表) 紙張り障子(見込み寸法) 図示(建具表) 図示(建具表)による。 【16.2.2】 【16.4.2】		
5	鋼製建具	外部に面する鋼製建具の耐風圧性 S-S 【16.4.3】 鋼板の亜鉛めっき付着量 Z12又はF12 JIS G3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) Y08 JIS G3317(溶融亜鉛-5%Niめっき鋼板及び鋼帯) Y08 鋼板の厚さ *標仕【表16.4.2】による 【16.4.4】 【表16.4.2】 亜鉛めっき鋼板の適用 *図示(建具表) 【16.5.3】 カラー鋼板の適用 *図示(建具表) 召合せ、縦小口包み板等の材質 鋼板 ステンレス鋼板 アルミニウム合金 表面仕上げ HL仕上げ 図示(建具表) 【16.6.4】 ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ 【16.6.5】 建築内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 第三種 【16.7.2】 【表16.7.1】 建具材の加工、組立時の含水率 A種 B種 C種 【16.7.2】 【表16.7.3】 フラッシュ戸(材料、寸法等) *図示(建具表)、図示されたもの以外は【16.7.2】(2)及び【16.7.3】(1)による。 かまこ戸(かまこ・鏡板の種類、見込み寸法) 図示(建具表) ふすま(上張りの種類) 鳥の子 新鳥の子 ビニル紙 雲花紙(押入等の裏側) # (見込み寸法) 図示(建具表) 戸がすま(見込み寸法) 図示(建具表) 紙張り障子(見込み寸法) 図示(建具表) 図示(建具表)による。 【16.2.2】 【16.4.2】		
6	網製軽量建具	ビニル被覆鋼板の適用 *図示(建具表) 【16.5.3】 カラー鋼板の適用 *図示(建具表) 召合せ、縦小口包み板等の材質 鋼板 ステンレス鋼板 アルミニウム合金 表面仕上げ HL仕上げ 図示(建具表) 【16.6.4】 ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ 【16.6.5】 建築内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 第三種 【16.7.2】 【表16.7.1】 建具材の加工、組立時の含水率 A種 B種 C種 【16.7.2】 【表16.7.3】 フラッシュ戸(材料、寸法等) *図示(建具表)、図示されたもの以外は【16.7.2】(2)及び【16.7.3】(1)による。 かまこ戸(かまこ・鏡板の種類、見込み寸法) 図示(建具表) ふすま(上張りの種類) 鳥の子 新鳥の子 ビニル紙 雲花紙(押入等の裏側) # (見込み寸法) 図示(建具表) 戸がすま(見込み寸法) 図示(建具表) 紙張り障子(見込み寸法) 図示(建具表) 図示(建具表)による。 【16.2.2】 【16.4.2】		
7	ステンレス建具	表面仕上げ HL仕上げ 図示(建具表) 【16.6.4】 ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ 【16.6.5】 建築内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 第三種 【16.7.2】 【表16.7.1】 建具材の加工、組立時の含水率 A種 B種 C種 【16.7.2】 【表16.7.3】 フラッシュ戸(材料、寸法等) *図示(建具表)、図示されたもの以外は【16.7.2】(2)及び【16.7.3】(1)による。 かまこ戸(かまこ・鏡板の種類、見込み寸法) 図示(建具表) ふすま(上張りの種類) 鳥の子 新鳥の子 ビニル紙 雲花紙(押入等の裏側) # (見込み寸法) 図示(建具表) 戸がすま(見込み寸法) 図示(建具表) 紙張り障子(見込み寸法) 図示(建具表) 図示(建具表)による。 【16.2.2】 【16.4.2】		
8	木製建具	表面仕上げ HL仕上げ 図示(建具表) 【16.6.4】 ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ 【16.6.5】 建築内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 第三種 【16.7.2】 【表16.7.1】 建具材の加工、組立時の含水率 A種 B種 C種 【16.7.2】 【表16.7.3】 フラッシュ戸(材料、寸法等) *図示(建具表)、図示されたもの以外は【16.7.2】(2)及び【16.7.3】(1)による。 かまこ戸(かまこ・鏡板の種類、見込み寸法) 図示(建具表) ふすま(上張りの種類) 鳥の子 新鳥の子 ビニル紙 雲花紙(押入等の裏側) # (見込み寸法) 図示(建具表) 戸がすま(見込み寸法) 図示(建具表) 紙張り障子(見込み寸法) 図示(建具表) 図示(建具表)による。 【16.2.2】 【16.4.2】		
9	防音、断熱建具等	図示(建具表)による。 【16.2.2】 【16.4.2】		
10	建具用金物	建具用金物の仕様 *建具製作時の仕様による 【16.8.1】 金物の種類及び見え掛りの材質 *図示(建具表)、標仕【表16.8.1】による 【16.8.2】 握り玉等の取付位置 *図示 【16.8.3】 マスターキーの製作 *製作する 【16.8.4】 鍵の組数 *3本1組(鍵箱 あり なし)		
11	ガラス	ガラスの厚さ・構成等については建具表により、その他ガラス性能は下記による 合わせガラスの種類(衝撃特性) 1類 強化ガラスの種類(衝撃特性) 類(曲面は 類) 熱線吸収ガラス(日射熱取得率) 2種 複層ガラス(断熱性・日射熱遮蔽性) U3-1 U3-2 U1 U2 E4 E5 熱線反射ガラス(日射熱遮蔽性・耐久性) 2種B類		
12	シーリング	雨掛り部分の建具枠回りに使用するシーリング材 【16.2.3】 シーリング材(木標仕(表11.3.1)による) 目地寸法(幅10mm、深さ10mm以上) ガラス留め材 シーリング材(シリコン系) 【16.14.2】 ガスケット(グレイジングチャンネル形) 板ガラスをはめ込む溝の大きさ 標仕【図16.14.1】による 【16.14.3】 表面形状 図示 【16.14.5】 呼び寸法 図示 厚さ 図示 壁用金属枠及び補強材 図示 力骨の材質、寸法、形式 SUS304 径5.5mmはしご形状複筋及び単筋 図示 化粧目地モルタルの色 シーリング材の種類 (表11.3.1)による 金属化粧カバーの材質、寸法、形状 図示 目地幅の寸法 【16.14.5】(2)(9)による 伸縮調整目地 図示 目地部の力骨の補強方法 *製造所の仕様による 自動ドアの開閉機構は、図示(建具表)、【16.9.2】、【16.9.3】、【表16.9.1】～【表16.9.6】による 製造所「評価名簿」による		
13	ガラスブロック積み	表面形状 図示 【16.14.5】 呼び寸法 図示 厚さ 図示 壁用金属枠及び補強材 図示 力骨の材質、寸法、形式 SUS304 径5.5mmはしご形状複筋及び単筋 図示 化粧目地モルタルの色 シーリング材の種類 (表11.3.1)による 金属化粧カバーの材質、寸法、形状 図示 目地幅の寸法 【16.14.5】(2)(9)による 伸縮調整目地 図示 目地部の力骨の補強方法 *製造所の仕様による 自動ドアの開閉機構は、図示(建具表)、【16.9.2】、【16.9.3】、【表16.9.1】～【表16.9.6】による 製造所「評価名簿」による		
14	自動ドア開閉装置	自動ドアの開閉機構は、図示(建具表)、【16.9.2】、【16.9.3】、【表16.9.1】～【表16.9.6】による 製造所「評価名簿」による		
15	自閉式上り引戸装置	製造所「評価名簿」による		
16	重量シャッター	シャッターの種類 *図示(建具表、耐風圧強度: N/m2) 【16.11.2】 開閉機能による種類 上部電動式(手動併用) 上部手動式 【表16.11.1】 シャッターケース *設ける		
17	軽量シャッター	開閉機能による種類 上部電動式(手動併用) 手動式 【表16.12.1】 【16.12.2】 耐風圧強度 N/m2 スラット 厚さ(mm) 0.5 0.8 【表16.12.2】 材質 JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯) 【16.12.3】 JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)		
18	オーバヘッドドア	形状 インターロック形 オーバラッピング形 【16.12.4】 【16.13.2】 【16.13.3】		
19章 内装工事 特記事項				
項目				
1	材料	(18.1.1) 【19.2.2】 【19.3.2】 【19.4.2】 【19.5.2】 【19.7.2】 【19.8.2】 【19.9.2】 壁紙施工用でん粉系接着剤、ウリア樹脂等を用いた接着剤、塗料、フェノールフォーム保温材のホルムアルデヒドの放散量 *規制対象外 第三種		
2	ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り(G)	ビニル床シート 【19.2.2】 種類の記号 厚さ(mm) 色柄 工法 備考 FS 2.0 無地 突付け 2.5 熱溶接 ビニル床タイル 種類の記号 厚さ(mm) 寸法 色柄 備考 2.0 ゴム床タイル 色柄 厚さ(mm) 寸法 備考		
3	カーペット敷き(G)	・緋じゅうたん 【19.3.2】 【19.3.3】 種類 織り方 バイル形状 色柄等 帯電性 A種 ウィルトンカーペット カットバイル 単一色(無地) 人体帯電圧 B種 アキスミンスターカーペット ループバイル 柄物(標準色) 3KV以下 C種 タフテッドカーペット バイル形状 バイル長さ(mm) 工法 帯電性 備考 カットバイル 全面接着工法 人体帯電圧 ループバイル グリッパー工法 3KV以下 タイルカーペット 種類 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 帯電性 備考 第一種 カットバイル 500*500 6.5 人体帯電圧 第二種 ループバイル カットバイル 3KV以下		
4	フローリング張り	品名 樹種 工法 種別 仕上塗装等 天然木化粧複合フローリング G なら 釘留め工法 A種 塗装品 ひのき 接着工法 B種 無塗装品 能登ヒバ 工法 C種 塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り オイルステイン塗り ワックス塗り 【19.5.7】 種別 A種 B種 C種 D種 【19.6.2】 【表19.6.1】		
5	畳敷き	種別 A種 B種 C種 D種 【19.6.2】 【表19.6.1】		

19章 内装工事 特記事項				
項目				
1	材料	(18.1.1) 【19.2.2】 【19.3.2】 【19.4.2】 【19.5.2】 【19.7.2】 【19.8.2】 【19.9.2】 壁紙施工用でん粉系接着剤、ウリア樹脂等を用いた接着剤、塗料、フェノールフォーム保温材のホルムアルデヒドの放散量 *規制対象外 第三種		
2	ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り(G)	ビニル床シート 【19.2.2】 種類の記号 厚さ(mm) 色柄 工法 備考 FS 2.0 無地 突付け 2.5 熱溶接 ビニル床タイル 種類の記号 厚さ(mm) 寸法 色柄 備考 2.0 ゴム床タイル 色柄 厚さ(mm) 寸法 備考		
3	カーペット敷き(G)	・緋じゅうたん 【19.3.2】 【19.3.3】 種類 織り方 バイル形状 色柄等 帯電性 A種 ウィルトンカーペット カットバイル 単一色(無地) 人体帯電圧 B種 アキスミンスターカーペット ループバイル 柄物(標準色) 3KV以下 C種 タフテッドカーペット バイル形状 バイル長さ(mm) 工法 帯電性 備考 カットバイル 全面接着工法 人体帯電圧 ループバイル グリッパー工法 3KV以下 タイルカーペット 種類 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 帯電性 備考 第一種 カットバイル 500*500 6.5 人体帯電圧 第二種 ループバイル カットバイル 3KV以下		
4	フローリング張り	品名 樹種 工法 種別 仕上塗装等 天然木化粧複合フローリング G なら 釘留め工法 A種 塗装品 ひのき 接着工法 B種 無塗装品 能登ヒバ 工法 C種 塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り オイルステイン塗り ワックス塗り 【19.5.7】 種別 A種 B種 C種 D種 【19.6.2】 【表19.6.1】		
5	畳敷き	種別 A種 B種 C種 D種 【19.6.2】 【表19.6.1】		
20章 断熱・防露・ユニット及びその他工事 特記事項				
項目				
1	断熱(G)・防露	ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ウリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 第三種 断熱材は、原則として「グリーン購入法」における特定調達品目を使用する。 断熱材の種類と厚さ又は使用量 図示 (20.1.2)(表20.1.1) 施工部位及び外気等に接する開口部を断熱構造とする部位 (20.1.3) 下記に記載された品番・型番等、備考欄の製造所名は、品質の程度を示すための参考であり、同等品以上とする。 (20.2.1) 【20.1.2】 ユニットの種類 品質・型番等 備考 住宅用複合サナリユニット 住宅用浴室ユニット 住宅用便所ユニット トイレブース 図示 住宅用収納間仕切ユニット 洗面化粧ユニット システムキッチン 階段消止め 工法 接着工法 ねじで取り付ける工法 (20.2.1) 【20.2.6】 ブラインド(施工部位及び寸法は図示) (20.2.1) 【20.2.12】 形式 種類 スラットの材質 スラットの幅(mm) 横型 ギヤ式 コード式 アルミニウム合金製 25 縦型 1本操作コード アルミスラット 80 2本操作コード クロススラット 100 ロールスクリーン(施工部位及び寸法は図示) (20.2.1) 【20.2.13】 操作方法 スクリーンの種類 品質等 ブルコード式(ストッパー付) ワンタッチチェーン式 無地 チェーン式 柄物 電動式 遮光タイプ 製造所 カーテン及びカーテンレール (20.2.1) 【20.2.14】 施工箇所 形式 装置 名称・品質 ひたの種類 備考 引分 電動 ひも引 手引 カーテンレール レール及びブラケットの強さ 10-90 10-60 レールの材料 アルミニウム製 ステンレス製 レールの仕上げ アルマイト HL レールの形状 角形 C形 D形 表示工事 (20.2.1) 【20.2.10】 ガラススクリーンの対人衝突防止表示の形状、寸法、材質等 *図示() 室名札の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 *図示() ピクトグラフの形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 *図示() 案内図の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 *図示() 掲示板の寸法、材質等 *図示() 建築銘板の設置等は、下記による。 (イ)設置 設置しない (ロ)材料、大きさ 黒又は白御影石水磨き仕上げ(450×600×25) (ハ)記入内容(参考) アクリル樹脂板(450×600×10) 45(60) 工事名 令和年月日 完成(監修) 設計 監理 建築(業者名を記入する) 電気(業者名を記入する) 給排水(業者名を記入する) 空調(業者名を記入する) 合併処理(業者名を記入する) 昇降機(業者名を記入する) 60(45) 工事名 木場潟公園東園地トイレ棟建設工事(建築) 図面名 木造建築工事仕様書 その4 図面番号 A-04		
2	ユニット工事	下記に記載された品番・型番等、備考欄の製造所名は、品質の程度を示すための参考であり、同等品以上とする。 (20.2.1) 【20.1.2】 ユニットの種類 品質・型番等 備考 住宅用複合サナリユニット 住宅用浴室ユニット 住宅用便所ユニット トイレブース 図示 住宅用収納間仕切ユニット 洗面化粧ユニット システムキッチン 階段消止め 工法 接着工法 ねじで取り付ける工法 (20.2.1) 【20.2.6】 ブラインド(施工部位及び寸法は図示) (20.2.1) 【20.2.12】 形式 種類 スラットの材質 スラットの幅(mm) 横型 ギヤ式 コード式 アルミニウム合金製 25 縦型 1本操作コード アルミスラット 80 2本操作コード クロススラット 100 ロールスクリーン(施工部位及び寸法は図示) (20.2.1) 【20.2.13】 操作方法 スクリーンの種類 品質等 ブルコード式(ストッパー付) ワンタッチチェーン式 無地 チェーン式 柄物 電動式 遮光タイプ 製造所 カーテン及びカーテンレール (20.2.1) 【20.2.14】 施工箇所 形式 装置 名称・品質 ひたの種類 備考 引分 電動 ひも引 手引 カーテンレール レール及びブラケットの強さ 10-90 10-60 レールの材料 アルミニウム製 ステンレス製 レールの仕上げ アルマイト HL レールの形状 角形 C形 D形 表示工事 (20.2.1) 【20.2.10】 ガラススクリーンの対人衝突防止表示の形状、寸法、材質等 *図示() 室名札の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 *図示() ピクトグラフの形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 *図示() 案内図の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 *図示() 掲示板の寸法、材質等 *図示() 建築銘板の設置等は、下記による。 (イ)設置 設置しない (ロ)材料、大きさ 黒又は白御影石水磨き仕上げ(450×600×25) (ハ)記入内容(参考) アクリル樹脂板(450×600×10) 45(60) 工事名 令和年月日 完成(監修) 設計 監理 建築(業者名を記入する) 電気(業者名を記入する) 給排水(業者名を記入する) 空調(業者名を記入する) 合併処理(業者名を記入する) 昇降機(業者名を記入する) 60(45) 工事名 木場潟公園東園地トイレ棟建設工事(建築) 図面名 木造建築工事仕様書 その4 図面番号 A-04		
3	その他工事	階段消止め 工法 接着工法 ねじで取り付ける工法 (20.2.1) 【20.2.6】 ブラインド(施工部位及び寸法は図示) (20.2.1) 【20.2.12】 形式 種類 スラットの材質 スラットの幅(mm) 横型 ギヤ式 コード式 アルミニウム合金製 25 縦型 1本操作コード アルミスラット 80 2本操作コード クロススラット 100 ロールスクリーン(施工部位及び寸法は図示) (20.2.1) 【20.2.13】 操作方法 スクリーンの種類 品質等 ブルコード式(ストッパー付) ワンタッチチェーン式 無地 チェーン式 柄物 電動式 遮光タイプ 製造所 カーテン及びカーテンレール (20.2.1) 【20.2.14】 施工箇所 形式 装置 名称・品質 ひたの種類 備考 引分 電動 ひも引 手引 カーテンレール レール及びブラケットの強さ 10-90 10-60 レールの材料 アルミニウム製 ステンレス製 レールの仕上げ アルマイト HL レールの形状 角形 C形 D形 表示工事 (20.2.1) 【20.2.10】 ガラススクリーンの対人衝突防止表示の形状、寸法、材質等 *図示() 室名札の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 *図示() ピクトグラフの形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 *図示() 案内図の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 *図示() 掲示板の寸法、材質等 *図示() 建築銘板の設置等は、下記による。 (イ)設置 設置しない (ロ)材料、大きさ 黒又は白御影石水磨き仕上げ(450×600×25) (ハ)記入内容(参考) アクリル樹脂板(450×600×10) 45(60) 工事名 令和年月日 完成(監修) 設計 監理 建築(業者名を記入する) 電気(業者名を記入する) 給排水(業者名を記入する) 空調(業者名を記入する) 合併処理(業者名を記入する) 昇降機(業者名を記入する) 60(45) 工事名 木場潟公園東園地トイレ棟建設工事(建築) 図面名 木造建築工事仕様書 その4 図面番号 A-04		

16章 左官工事 特記事項				
項目				
1	ラス系下地	ラス系下地の種類 【15.2.4】 種類 適用箇所 直張りラスモルタル下地 直張りラスシート下地 通気構法単層下地 通気構法二層下地		
2	木質系セメント板	木質系セメント板の種類 【15.2.5】		
3	小舞下地	材料の種類 【15.2.6】 小舞竹 まだけの割り竹 しのだけの割り竹 しのだけの丸竹 小舞縄 しゅろ 麻 わら縄		
4	木ずり下地	木ずり用小幅板の樹種等 杉 心去り材 【15.2.7】 既調合モルタルの使用 使用する (形状*図示) 【15.3.2】 既製目地材の使用 使用する (形状*図示)		
6	しっくい塗り	既調合しっくいの製造所備及び種類 *監督員と協議 【15.10.2】 木ずり下地の場合の仕上げ厚 15mm 【15.10.3】		
7	小舞壁塗り	のりの種類 【15.11.2】 土壁 ぶのり *つのみた ぎんなんそう(銀杏草) 砂壁 ぶのり *つのみた ぎんなんそう(銀杏草)		
8	仕上塗材仕上げ	小舞壁の工程の種類 A種 B種 【15.11.5】 【表15.11.9】 建物内部に使用するウリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 第三種 【15.6.2】 仕上塗材の種類(呼び名)、仕上げの形状及び工法 *図示(仕上表) 【15.6.2】 【表15.6.1】 複層仕上塗材の耐候性 耐候形3種 複層仕上塗材の上塗材の種類 【表15.6.2】		

⑥	せっこうボード、その他ボード及び合板	材料 せっこうボード、その他ボード類の種類、厚さ等は図示による 【19.7.2】 【表19.7.1】 合板類の張付け種別 A種 B種 【19.7.3】 【表19.7.3】 ①せっこうボードの目地処理 縦目処理工法 目透し工法 【表19.7.5】 (テーパージェッジ及びベベルエッジ使用箇所は図示) 【19.8.2】	
	7	壁紙張り	【19.8.2】
	20章 断熱・防露・ユニット及びその他工事 特記事項		
	項目		
	1	断熱(G)・防露	ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ウリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 第三種 断熱材は、原則として「グリーン購入法」における特定調達品目を使用する。 断熱材の種類と厚さ又は使用量 図示 (20.1.2)(表20.1.1) 施工部位及び外気等に接する開口部を断熱構造とする部位 (20.1.3) 下記に記載された品番・型番等、備考欄の製造所名は、品質の程度を示すための参考であり、同等品以上とする。 (20.2.1) 【20.1.2】 ユニットの種類 品質・型番等 備考 住宅用複合サナリユニット 住宅用浴室ユニット 住宅用便所ユニット トイレブース 図示 住宅用収納間仕切ユニット 洗面化粧ユニット システムキッチン 階段消止め 工法 接着工法 ねじで取り付ける工法 (20.2.1) 【20.2.6】 ブラインド(施工部位及び寸法は図示) (20.2.1) 【20.2.12】 形式 種類 スラットの材質 スラットの幅(mm) 横型 ギヤ式 コード式 アルミニウム合金製 25 縦型 1本操作コード アルミスラット 80 2本操作コード クロススラット 100 ロールスクリーン(施工部位

・Jサイクル製品の使用  
 (1)リサイクル製品は、「石川県リサイクル認定製品」を優先的に使用すること。  
 石川県リサイクル認定製品 ・使用する

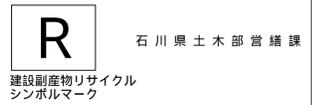
---

「石川県リサイクル認定製品」は、石川県のホームページを参照する。  
<http://www.pref.ishikawa.jp/> (石川県 生活環境部 資源循環推進課)

(2)その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。

(3)建設副産物リサイクル製品を使用した場合、下記掲示板を設置する。(但し、工事請負代金が1,000万円以上のもの)  
 看板の寸法は90cm×60cm程度とする。

この建築工事ではリサイクル製品として



を使用しています。

石川県土木部 営繕課

建設副産物リサイクルシンボルマーク

(注)建設副産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること

21章 排水工事  
 特記事項

1	排水管	排水管用材料 (21.1.1)【21.2.1】【表21.2.1】												
		<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>管形状(接合方法)</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管(1種)</td> <td>B形(ゴム接合)</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・VP ・VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管</td> <td>・RS-VU</td> <td></td> </tr> </table>	材種	管の種類	管形状(接合方法)	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	B形(ゴム接合)	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU		・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	・RS-VU	
材種	管の種類	管形状(接合方法)												
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	B形(ゴム接合)												
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU													
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	・RS-VU													

2	排水溝及び枘蓋等	排水溝及び枘蓋の種類、形状、寸法 *図示 (21.1.1)【21.2.1】
---	----------	--

22章 舗装工事  
 特記事項

1	盛土に用いる材料	(22.1.1)【22.2.3】【表22.2.1】																																		
2	凍上抑制層の材料	・A種 B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土																																		
3	路床	再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切り込み砂利 【22.2.2】【22.2.3】【表22.2.1】																																		
		<p>路床安定処理</p> <p>添加材料による安定処理</p> <p>種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種        ・高炉セメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( )</p> <p>添加量 kg/m<sup>3</sup>(目標CBR 5以上)</p> <p>・ジオテキスタイルによる安定処理</p> <p>ジオテキスタイルの品質</p> <p>単位面積質量 60g/m<sup>2</sup>以上        厚さ(mm) 0.5~1.0        引張り強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上        透水係数 1.5×10<sup>-2</sup>cm/sec以上</p>																																		
		透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ 車道部 150mm ( ) 歩道部 50mm ( )																																		
		路床土の支持力比(CBR)試験 行う(乱した土 ・乱さない土)																																		
		路床締固め度の試験 行う																																		
		砂の粒度試験 行う																																		
4	路盤	材料 再生クラッシュラン(RC-40) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ(CS-40) 【22.3.3】【表2.3.1】																																		
		路盤の厚さ 【22.3.3】																																		
		<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">舗装の種類</th> <th colspan="4">路盤の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">車道部</th> <th colspan="2">歩道部</th> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>・100</td> <td>・150</td> <td>・250</td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>・100</td> <td>・150</td> <td>・</td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>カラー舗装</td> <td>・100</td> <td>・150</td> <td>・250</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>透水性アスファルト舗装</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>インターロッキングブロック舗装</td> <td>・100</td> <td>・150</td> <td>・250</td> <td>・100</td> </tr> </table>	舗装の種類	路盤の厚さ(mm)				車道部		歩道部		アスファルト舗装	・100	・150	・250	・100	コンクリート舗装	・100	・150	・	・100	カラー舗装	・100	・150	・250	・	透水性アスファルト舗装				・100	インターロッキングブロック舗装	・100	・150	・250	・100
舗装の種類	路盤の厚さ(mm)																																			
	車道部		歩道部																																	
アスファルト舗装	・100	・150	・250	・100																																
コンクリート舗装	・100	・150	・	・100																																
カラー舗装	・100	・150	・250	・																																
透水性アスファルト舗装				・100																																
インターロッキングブロック舗装	・100	・150	・250	・100																																
		路盤の締固め度試験 行う																																		

5	アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ 【22.4.2】														
		<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">部位</th> <th colspan="2">舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>基層</th> <th>表層</th> </tr> <tr> <td>車道部(基層なし)</td> <td>・50</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>車道部(基層あり)</td> <td>・50</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>歩道部</td> <td>・</td> <td>・30</td> </tr> </table>	部位	舗装の厚さ(mm)		基層	表層	車道部(基層なし)	・50	・	車道部(基層あり)	・50	・30	歩道部	・	・30
部位	舗装の厚さ(mm)															
	基層	表層														
車道部(基層なし)	・50	・														
車道部(基層あり)	・50	・30														
歩道部	・	・30														
		アスファルト 再生アスファルト ・ストレートアスファルト 【22.4.3】														
		再生加熱アスファルト混合物の種類 【22.4.4】【表22.4.4】														
		区分 ・一般地域 寒冷地域														
		表層 密粒度アスファルト混合物(13) 密粒度アスファルト混合物(13F)														
		・細粒度アスファルト混合物(13)														
		シールコート 行わない ・行う(施工範囲: ) アスファルト混合物の抽出試験 行わない ・行う 【22.4.5】 【22.4.6】														

6	コンクリート舗装	早強セメント 使用しない ・使用する 注入目地材料 低弾性タイプ ・高弾性タイプ 溶接金網 有り ・無し 厚さ試験 行う ・行わない 【22.5.3】 【22.5.3】【表22.5.2】 【22.5.3】【表22.5.4】 【22.5.6】																																			
7	カラー舗装	カラー舗装の種類 【22.6.2~22.6.4】【表22.6.1、表22.6.2】																																			
		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>車道部の基層</th> <th>着色骨材等</th> <th>顔料の添加量等</th> <th>カラー舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td>なし</td> <td>・有色骨材(焼成)</td> <td>・5~7%</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>・石油樹脂系混合物</td> <td>・あり</td> <td>・着色骨材(樹脂被覆)</td> <td>・%</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>・樹脂系混合物</td> <td></td> <td>・自然石</td> <td></td> <td>5~10</td> </tr> <tr> <td>・ニート工法</td> <td></td> <td>・エメリー</td> <td></td> <td>3~5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・着色磁器質骨材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・塗布工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1程度以下</td> </tr> </table>	種類	車道部の基層	着色骨材等	顔料の添加量等	カラー舗装の厚さ(mm)	アスファルト混合物	なし	・有色骨材(焼成)	・5~7%	50	・石油樹脂系混合物	・あり	・着色骨材(樹脂被覆)	・%	・30	・樹脂系混合物		・自然石		5~10	・ニート工法		・エメリー		3~5			・着色磁器質骨材			・塗布工法				1程度以下
種類	車道部の基層	着色骨材等	顔料の添加量等	カラー舗装の厚さ(mm)																																	
アスファルト混合物	なし	・有色骨材(焼成)	・5~7%	50																																	
・石油樹脂系混合物	・あり	・着色骨材(樹脂被覆)	・%	・30																																	
・樹脂系混合物		・自然石		5~10																																	
・ニート工法		・エメリー		3~5																																	
		・着色磁器質骨材																																			
・塗布工法				1程度以下																																	

8	透水性アスファルト舗装	アスファルト混合物の抽出試験 行わない ・行う 【22.7.6】【22.4.6】																				
9	ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 【22.8.2】【22.8.3】																				
		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> <th>表面加工</th> </tr> <tr> <td>普通平板(N)</td> <td>300角</td> <td>60</td> <td>砂</td> <td>・研出し</td> </tr> <tr> <td>・透水平板(P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> <td>・洗出し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・たたき出し</td> </tr> </table>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	表面加工	普通平板(N)	300角	60	砂	・研出し	・透水平板(P)	・	・	・モルタル	・洗出し					・たたき出し
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	表面加工																		
普通平板(N)	300角	60	砂	・研出し																		
・透水平板(P)	・	・	・モルタル	・洗出し																		
				・たたき出し																		
		・インターロッキングブロック舗装 【22.8.2】【22.8.3】																				
		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>曲げ強度</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面加工及び色彩等</th> </tr> <tr> <td>普通タイプ</td> <td>5N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>車道部 80</td> <td>標準タイプ</td> </tr> <tr> <td>・誘導、注意喚起用タイプ</td> <td></td> <td>歩道部 60</td> <td>・表面化粧タイプ</td> </tr> <tr> <td>・透水性タイプ</td> <td>3N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td></td> <td>誘導、注意喚起用は</td> </tr> <tr> <td>・植生タイプ</td> <td>4N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>100</td> <td>・黄色とする</td> </tr> </table>	種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等	普通タイプ	5N/mm <sup>2</sup> 以上	車道部 80	標準タイプ	・誘導、注意喚起用タイプ		歩道部 60	・表面化粧タイプ	・透水性タイプ	3N/mm <sup>2</sup> 以上		誘導、注意喚起用は	・植生タイプ	4N/mm <sup>2</sup> 以上	100	・黄色とする
種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等																			
普通タイプ	5N/mm <sup>2</sup> 以上	車道部 80	標準タイプ																			
・誘導、注意喚起用タイプ		歩道部 60	・表面化粧タイプ																			
・透水性タイプ	3N/mm <sup>2</sup> 以上		誘導、注意喚起用は																			
・植生タイプ	4N/mm <sup>2</sup> 以上	100	・黄色とする																			

10	区画線	路面表示用塗料 【22.8.2】【22.8.3】																						
		<table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類</th> <th>施工時の条件</th> <th>適用</th> <th>寸法(mm)</th> <th>色彩</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">JISK5665</td> <td>・1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>幅 150</td> <td>・白</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>加熱</td> <td></td> <td>厚さ 1.0</td> <td>・黄</td> </tr> <tr> <td>・3種</td> <td>融融</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	色彩	JISK5665	・1種	常温	液状	幅 150	・白	・2種	加熱		厚さ 1.0	・黄	・3種	融融	粉体状		
規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	色彩																			
JISK5665	・1種	常温	液状	幅 150	・白																			
	・2種	加熱		厚さ 1.0	・黄																			
	・3種	融融	粉体状																					
		揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。																						

23章 植栽工事  
 特記事項

1	土壌の酸度、塩分量試験	行う (23.1.1)【23.1.3】																				
2	樹木の植栽基盤整備	芝及び地被類 【23.2.2】【表23.2.1】【表23.2.2】																				
		<table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>行う ・行わない</td> <td>20</td> <td>B種</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	行う ・行わない	20	B種	・図示												
適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																			
行う ・行わない	20	B種	・図示																			
		樹木 【23.2.2】【表23.2.1】【表23.2.2】																				
		<table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>100</td> <td>A種</td> <td>葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>60</td> <td>・C種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table>	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	・12以上	100	A種	葉張りの範囲	・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3以上~7未満	60	・C種	・図示	・3未満	50	・D種	
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																			
・12以上	100	A種	葉張りの範囲																			
・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																			
・3以上~7未満	60	・C種	・図示																			
・3未満	50	・D種																				
		工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。																				

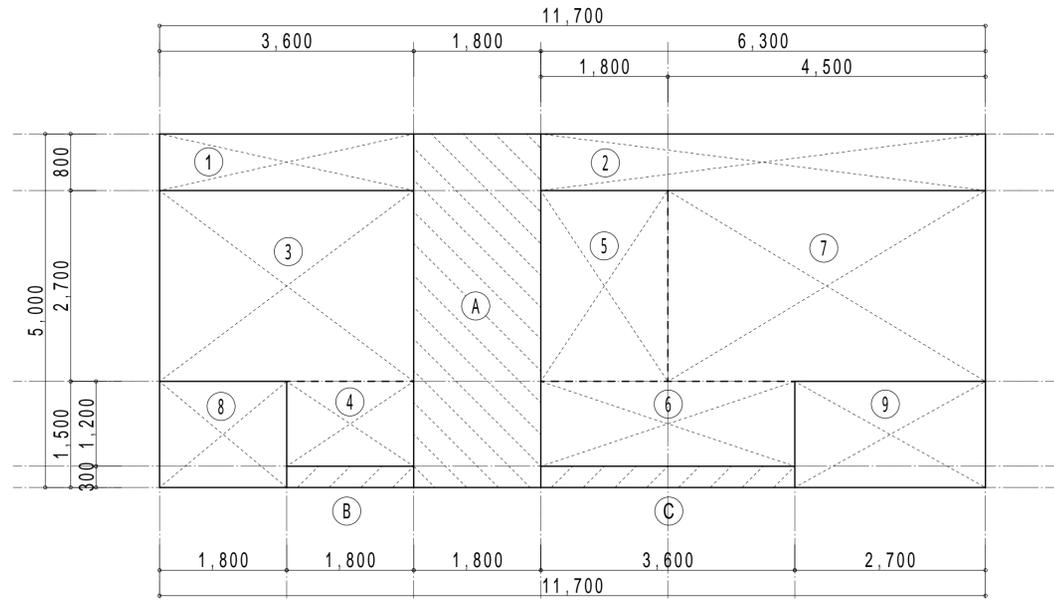
23章 植栽工事  
 特記事項

3	植込み用土	現場発生土の良質土 ・寄土(畑土 ・黒土) 【23.2.3】
---	-------	-----------------------------------

4	土壌改良材	適用する 【23.2.3】【23.2.4】
		「肥料取締法」に基づき登録されたもの、又は、「地力増進法」で届出されたものを使用すること。
		施工箇所 植栽範囲 ・図示
		・パークたい肥
		・発酵下水汚泥コンポスト
		「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする。
5	支柱材	丸太又は間伐材 ・竹 【23.3.2】
6	幹巻き用テープ	・わら及び、こも 【23.3.2】
7	芝張り	種類 こうらい芝 ・野芝 【23.4.2】
8	枯補償	提出すること。
9	吹付けは種	種子の種類 洋芝類又はクローバー(採取後2年以内) 【23.4.2】
		種子の量 発芽率80%以上

23章 その他  
 特記事項

1	いしかわ週休2日工事	1)適用 工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」(以下、週休2日工事」という。)の適用については、次のとおりとする。 対象 ・対象外
		2)週休2日工事の内容 (1)受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 (2)受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を工事工程表(様式2を標準とする)に記入し、監督員に提出・共有すること。 (3)受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 (4)受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 (5)週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室HPの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。 (6)分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 (7)受注者は、発注者が必要と認めた場合、別に定めるアンケート調査に協力すること。 (8)当初設計において、週休2日(4週8休以上、現場閉所率28.5%(8日/28日)以上)を前提に補正係数1.05により労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を補正している。 (9)発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合は、(8)の補正分を減額する。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。
2	余裕期間制度 試行工事	1)余裕期間制度対象工事の内容 (1)本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度(フレックス方式)試行要領に基づき実施するものとする。 (2)受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 (3)受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 (4)工期は受注者が任意で設定した着工日及び完成日を記載する。 (5)受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 (6)受注者は、着工日までの余裕期間内に工事(工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。)に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 (7)受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任(監理)技術者の配置を要しない。 (8)受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 (9)余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 (10)その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度(フレックス方式)試行要領によるものとする。 (着工日の期限) 契約締結日から起算して ヶ月以内 (完成日の期限) 令和 年 月 日以内



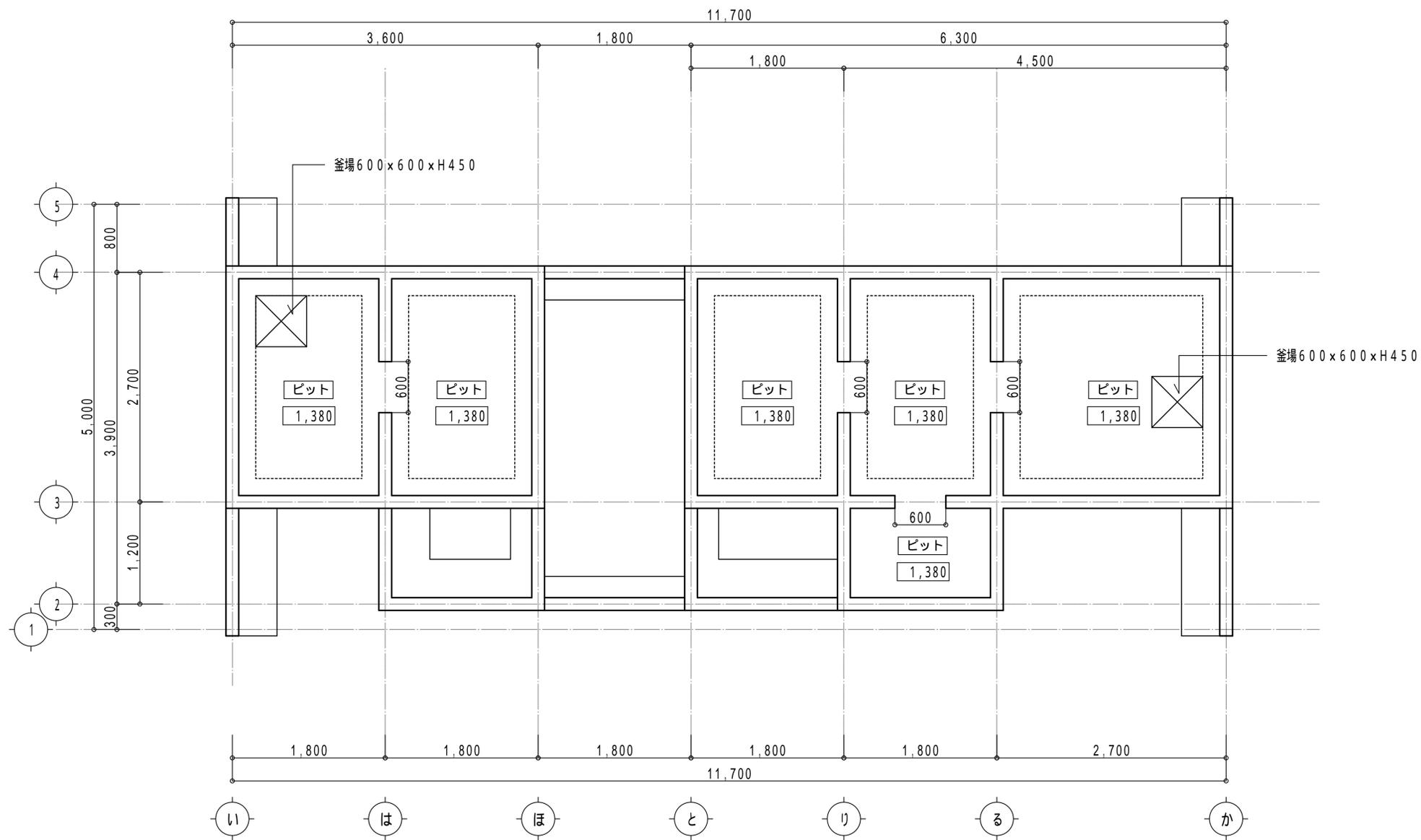
求積図 S = 1 / 50

面積表

符号	室名	計算式	床面積 (㎡)
①	ベンチ・足洗い場	3.60 x 0.80	2.88
②	ベンチ・足洗い場	6.30 x 0.80	5.04
③	WC (男)	3.60 x 2.70	9.72
④	WC (男)	1.80 x 1.20	2.16
⑤	多目的WC	1.80 x 2.70	4.86
⑥	WC (女)	3.60 x 1.20	4.32
⑦	WC (女)	4.50 x 2.70	12.15
⑧	自販機置場	1.80 x 1.50	2.70
⑨	ベンチ・足洗い場	2.70 x 1.50	4.05
A	通路	1.80 x 5.00	9.00
B	土縁	1.80 x 0.30	0.54
C	土縁	3.60 x 0.30	1.08
1階・延床面積 ( 1 ~ 9 )			47.88
敷地面積			0.00
建築面積 ( 1 ~ 9、A、B、C )			58.50
建ぺい率			$58.50 / 0.00 \times 100 = 0.00\% < 60\%$
容積率			$47.88 / 0.00 \times 100 = 0.00\% < 200\%$

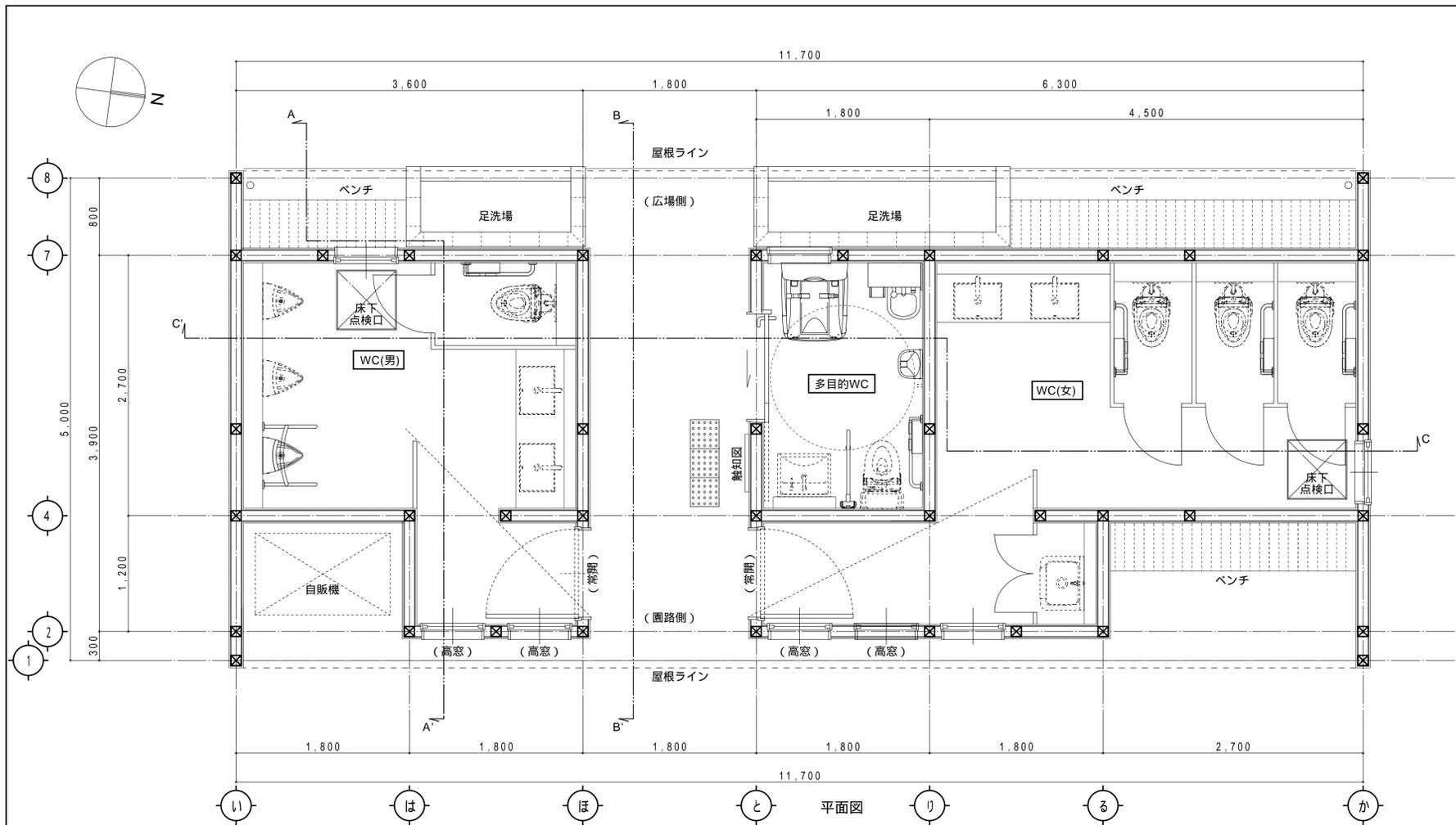
① ② ③ は屋内の用途ではないため、床面積には不算入とする。



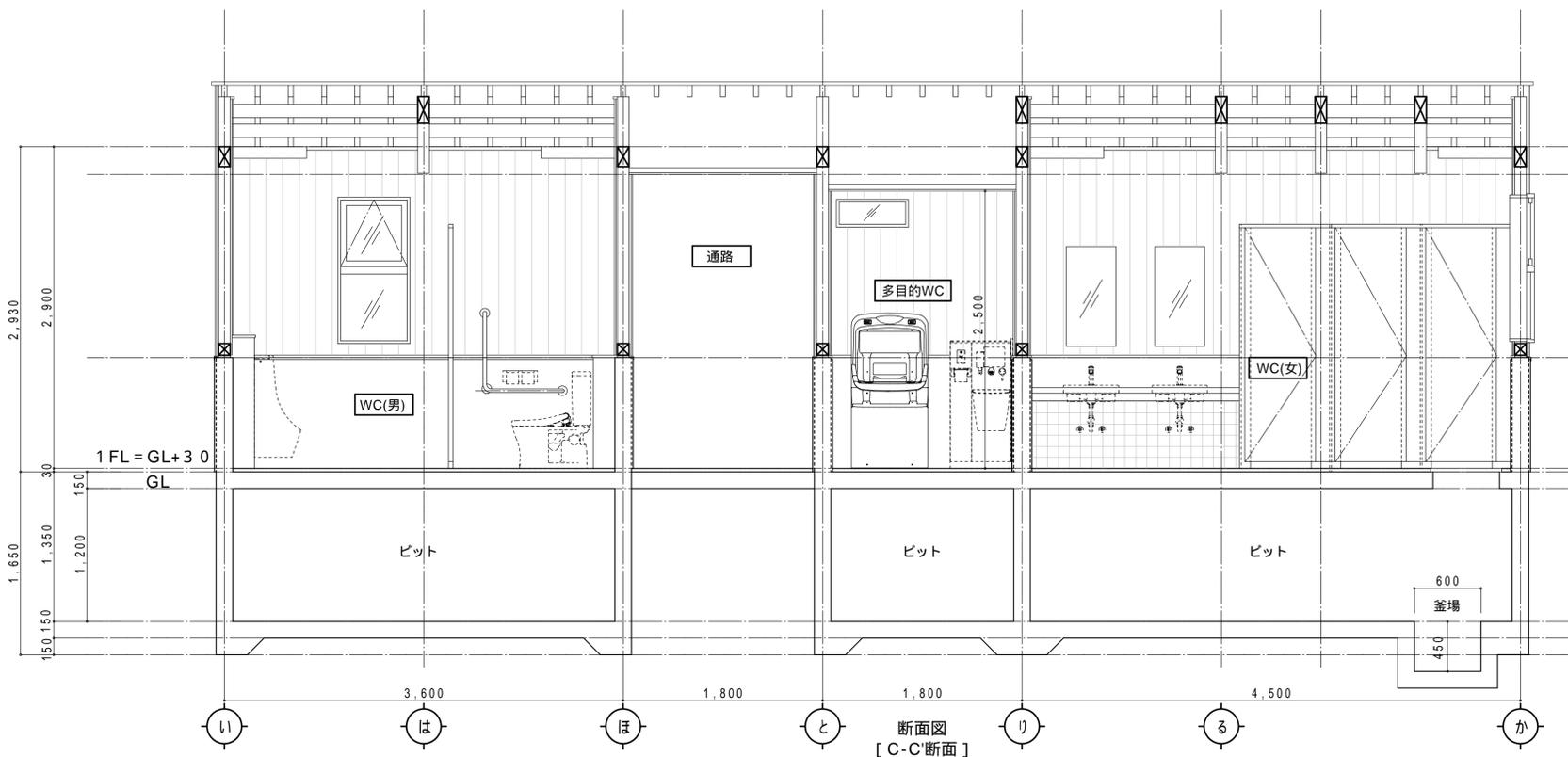


ピット 平面図 S = 1 / 30

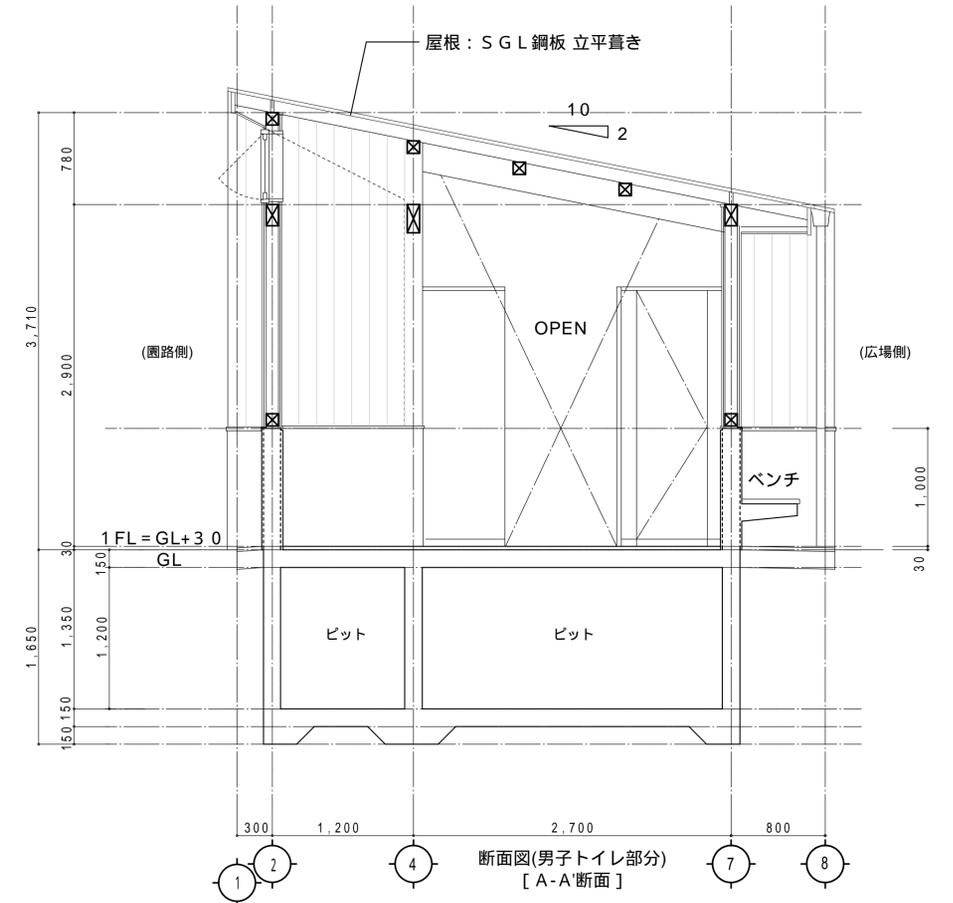
ピット内壁、床：ケイ酸質系塗布防水2回塗り、RC下地



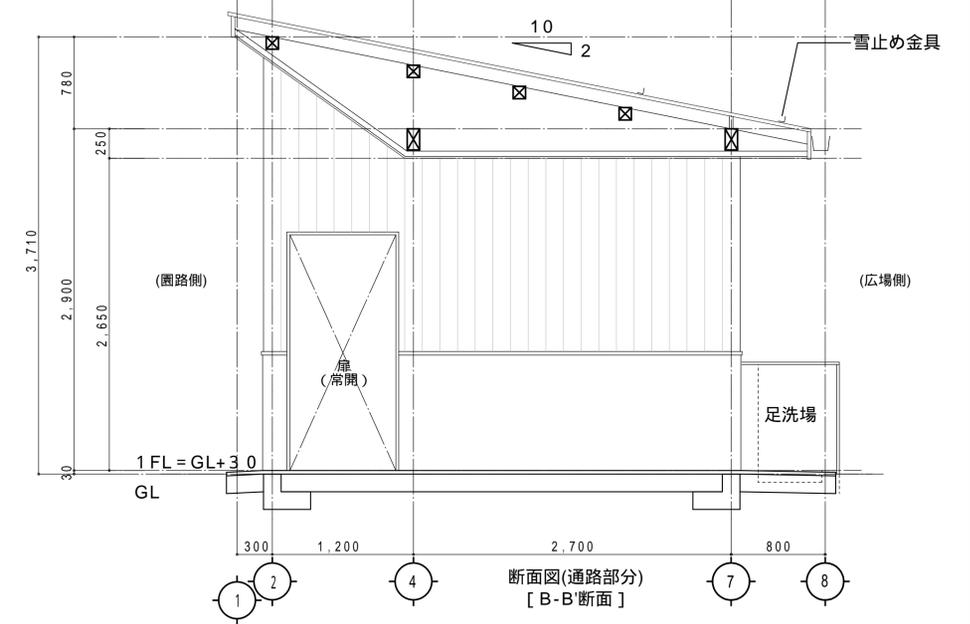
平面図



断面図 [C-C'断面]



断面図(男子トイレ部分) [A-A'断面]



断面図(通路部分) [B-B'断面]

3.60×5.00+6.30×5.0=49.50㎡

柱寸法は105角を基本とする。  
使用材料は県産材(杉)とする

**山岸建築設計事務所**  
Yamagishi Architects + Engineers

一級建築士事務所  
一級建築士第334429号 山岸敬広

設計年月日  
2021.03

設計 製図 訂正

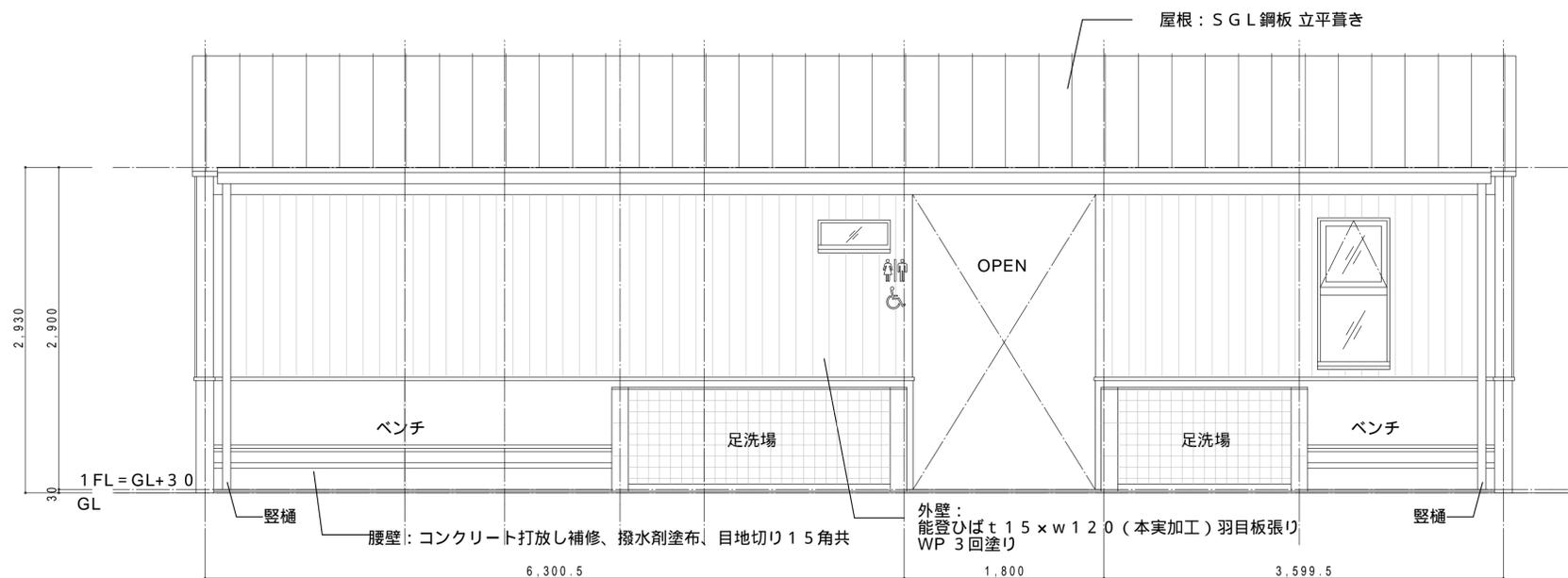
工事名  
木場湯公園東園地トイレ棟建設工事(建築)

2034

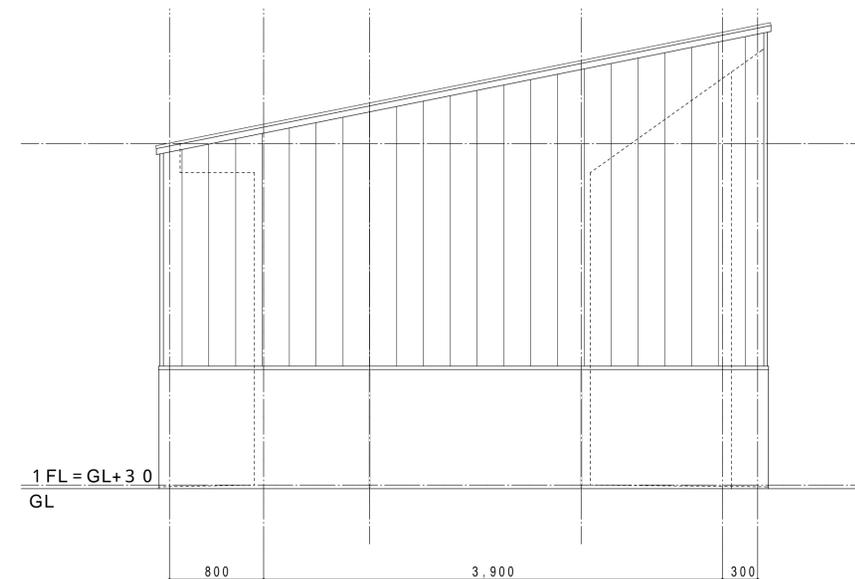
平面図・断面図

図番  
A-09

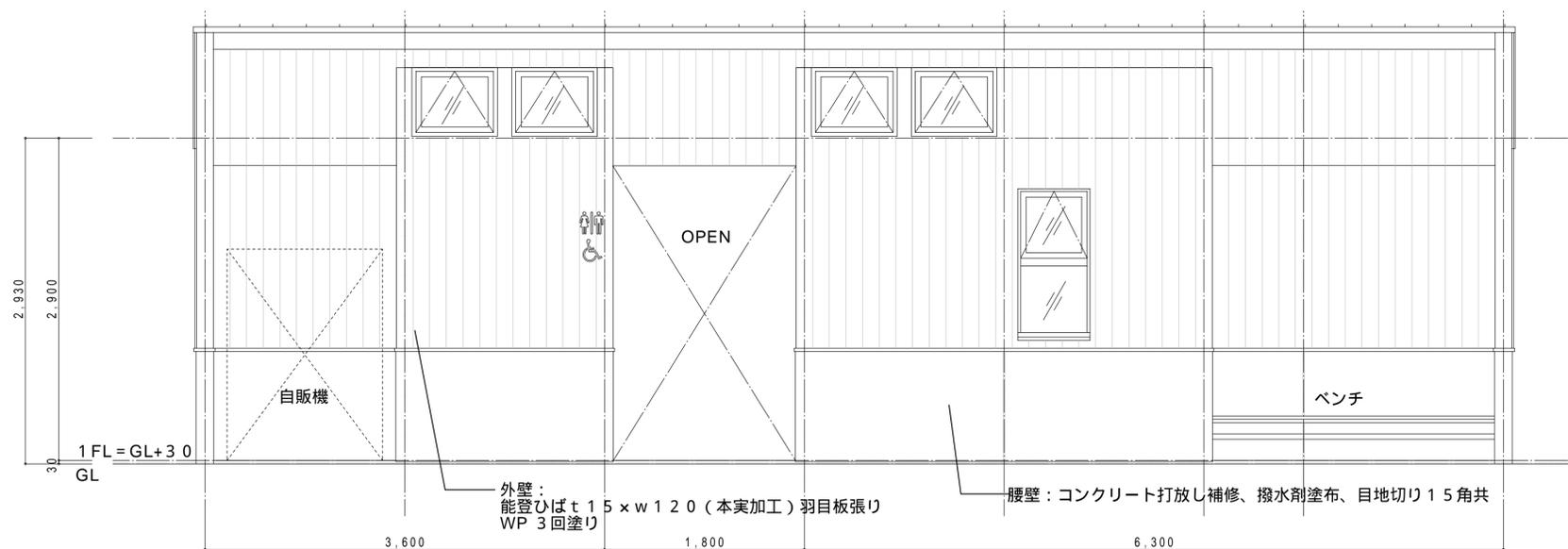
縮尺  
A1=1:30  
A3=1:60



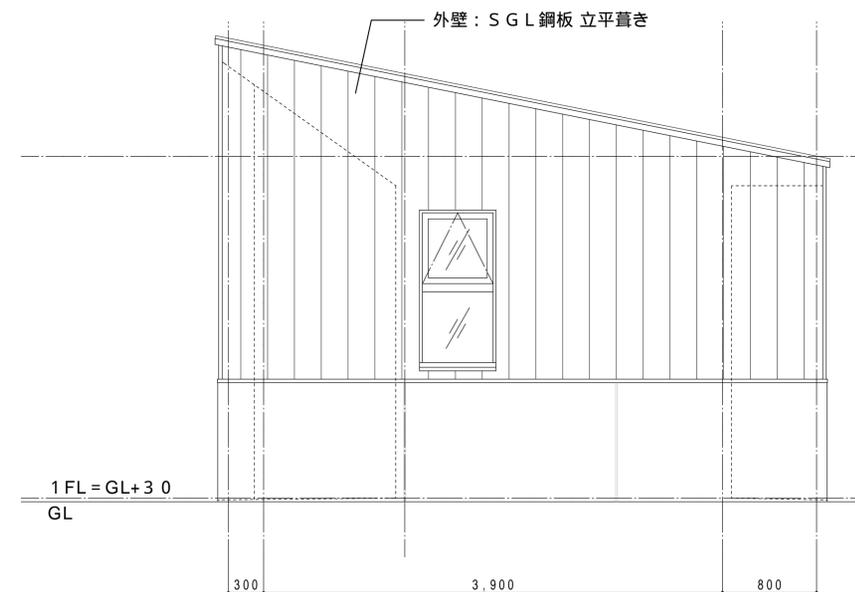
立面図(広場側)



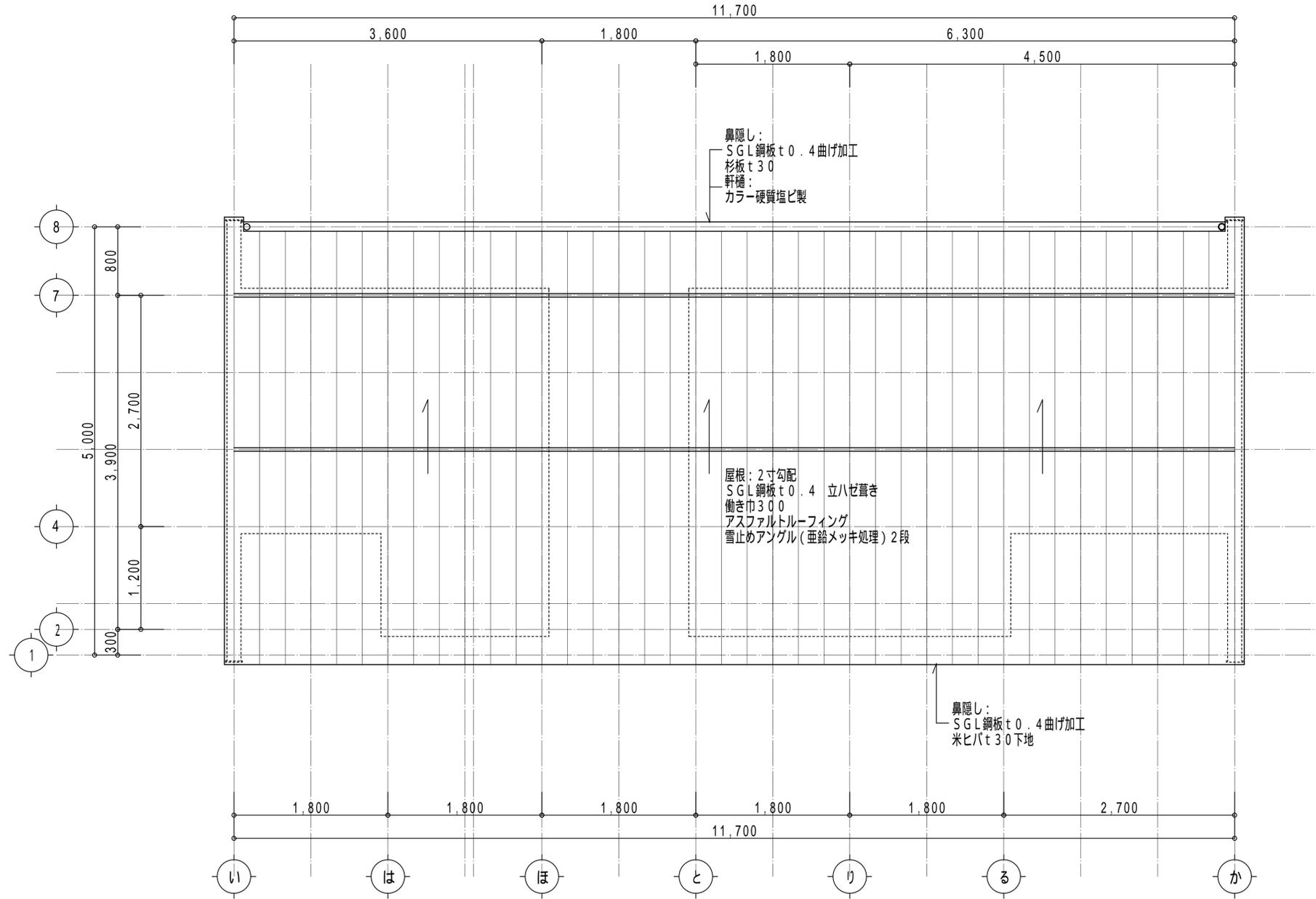
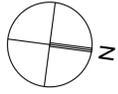
立面図(男子トイレ側)



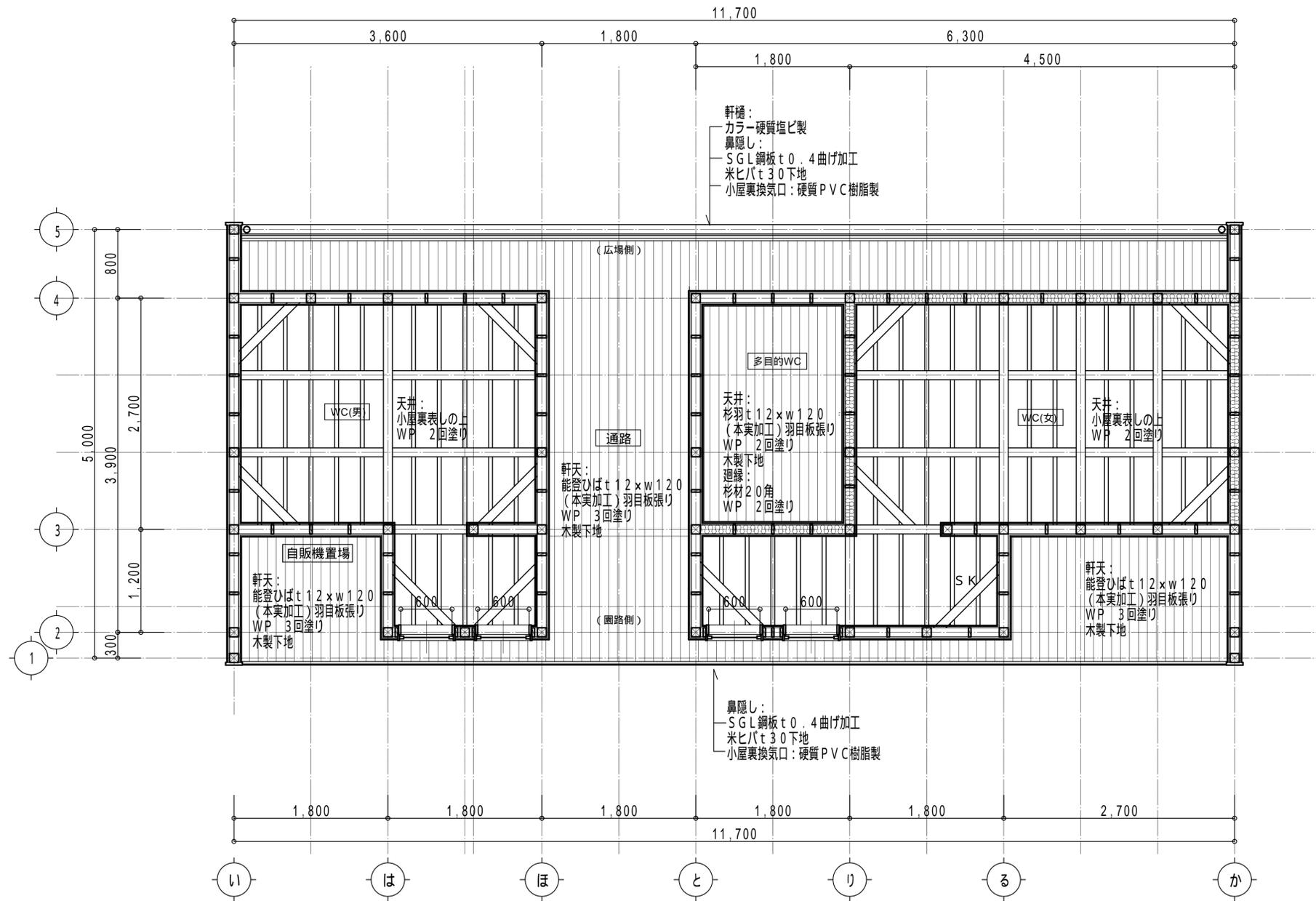
立面図(園路側)



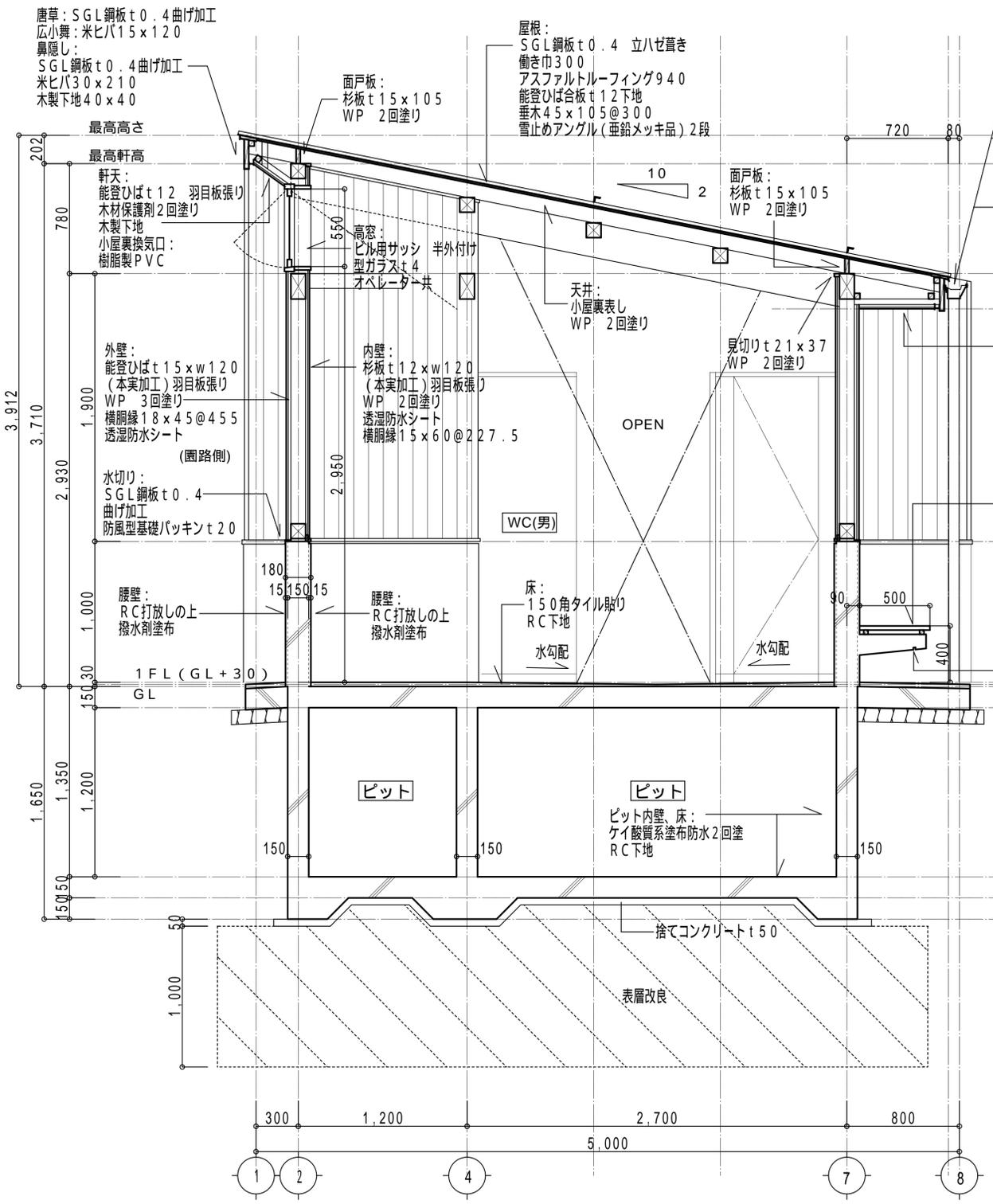
立面図(女子トイレ側)



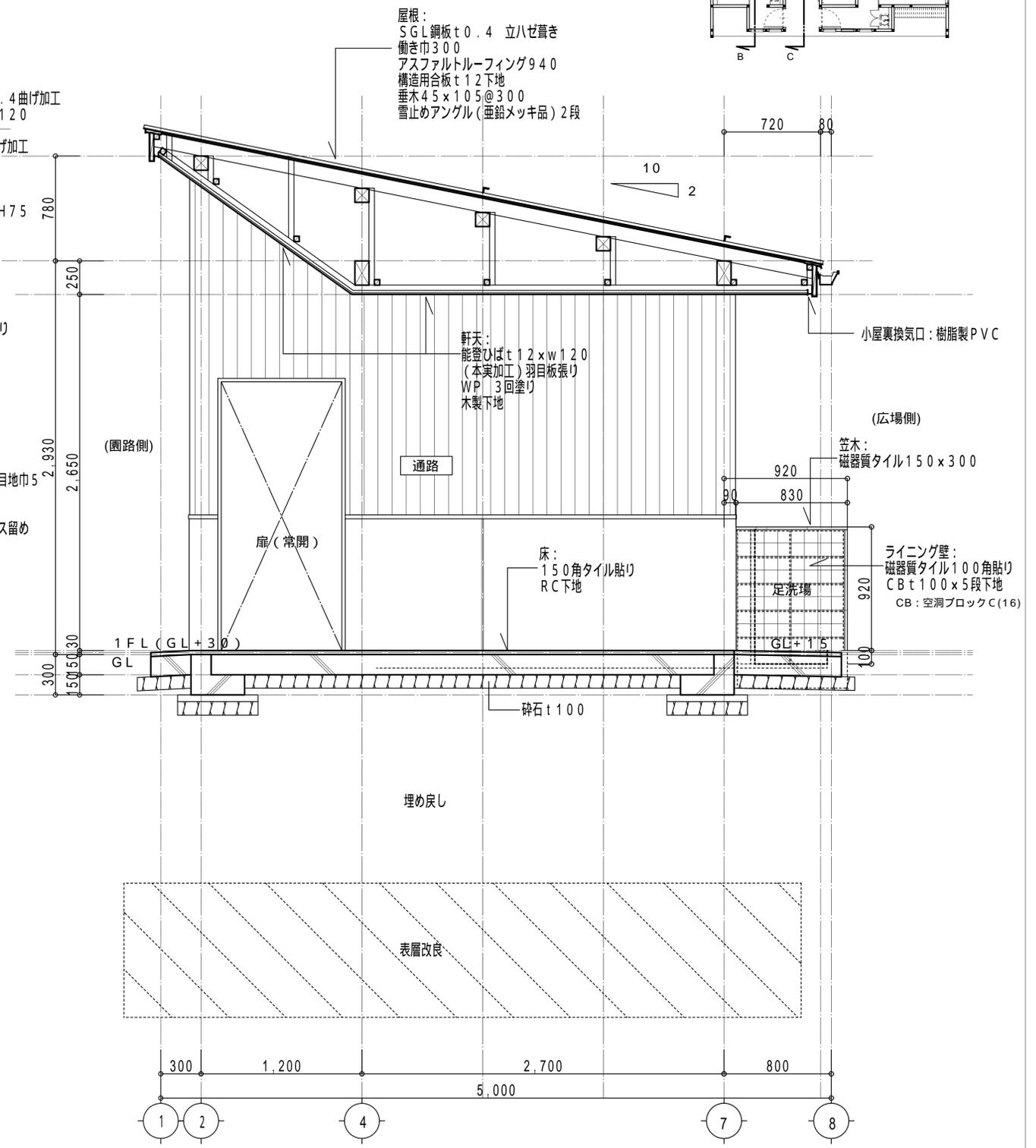
屋根伏図 S = 1 / 30



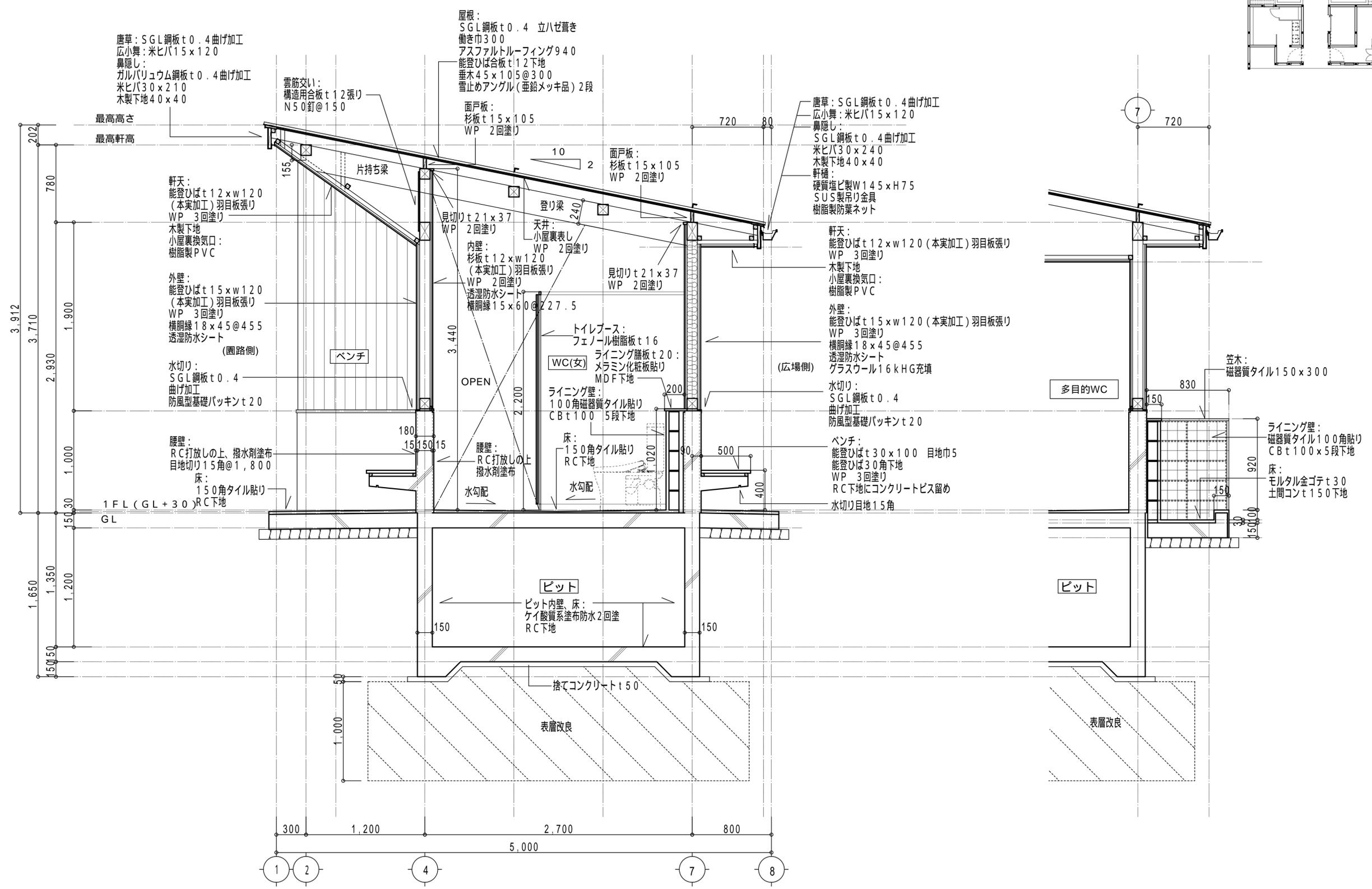
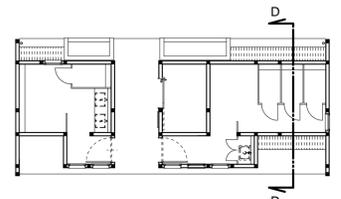




B ~ B 矩計図 S = 1 / 20

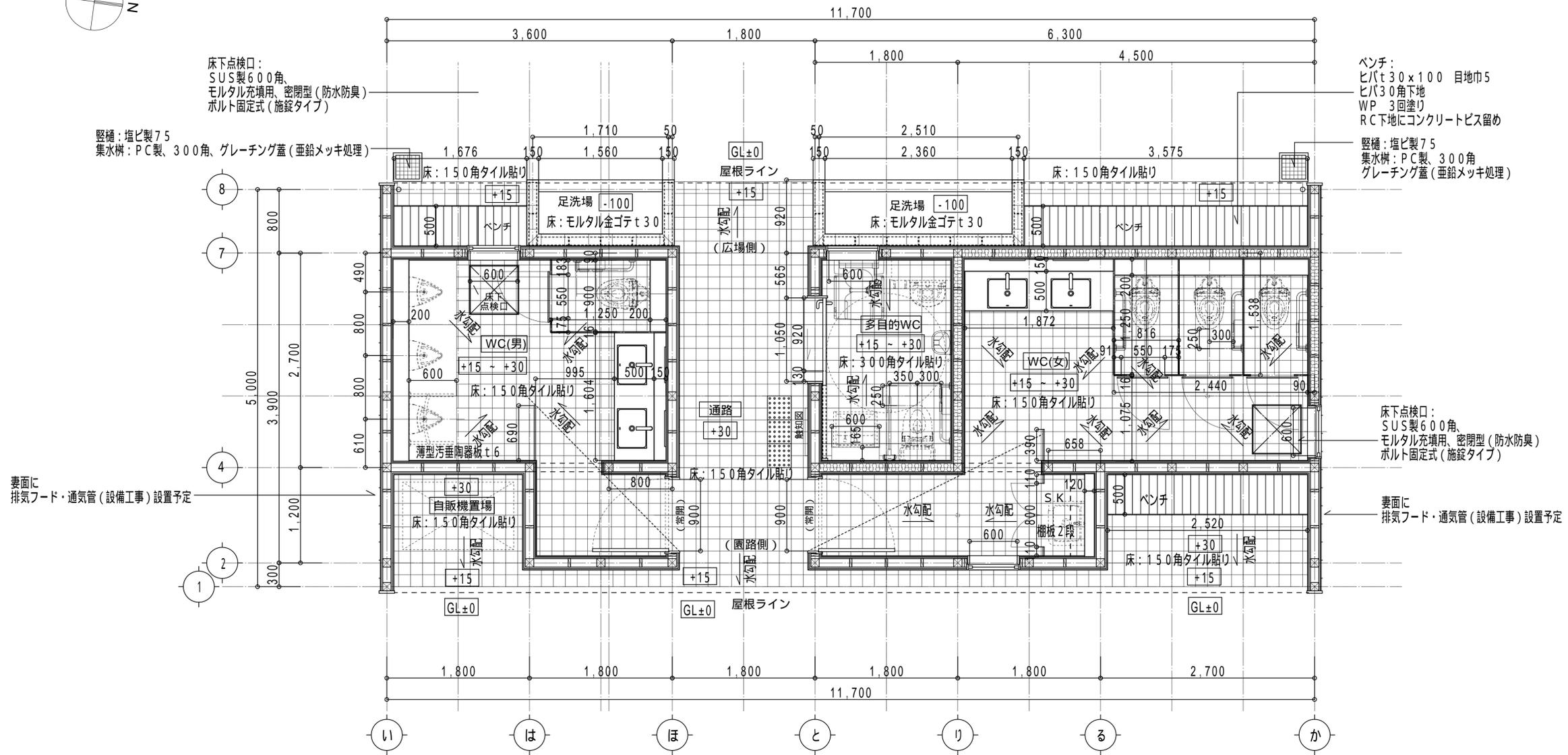
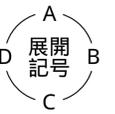
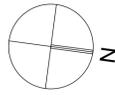


C ~ C 矩計図 S = 1 / 20



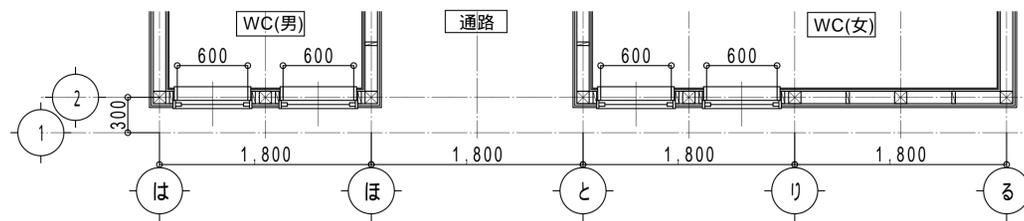
D-D 矩計図 S = 1 / 20

足洗い場 矩計図 S = 1 / 20

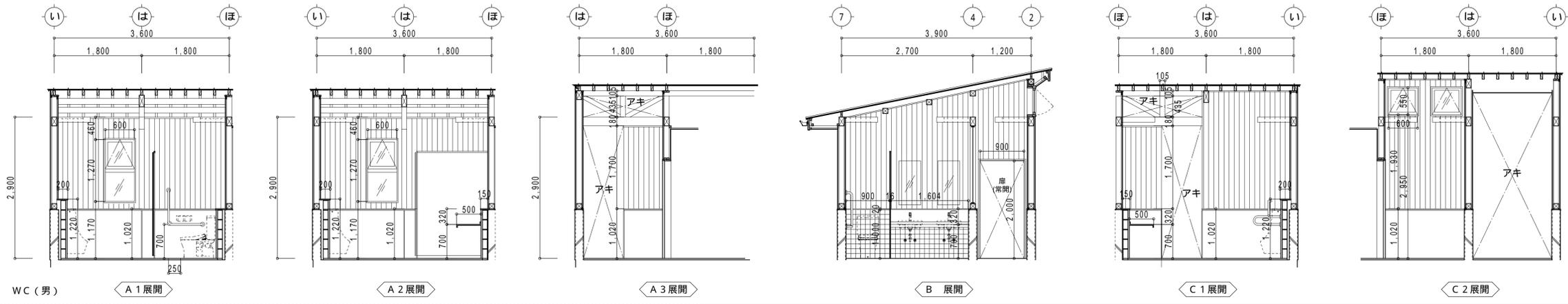


平面詳細図 S = 1 / 30

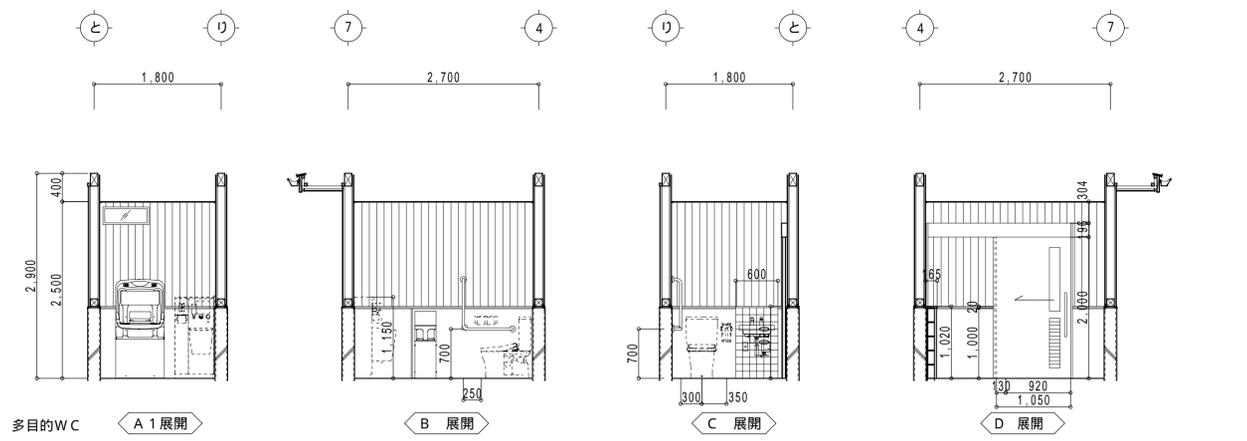
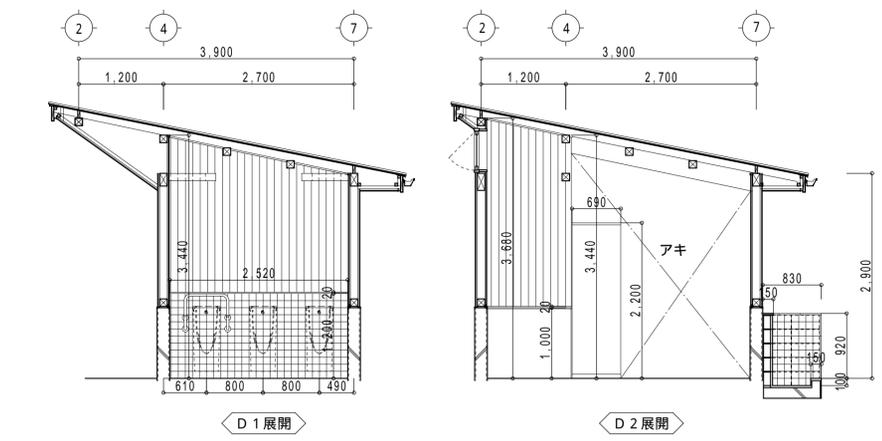
壁内に高性能グラスウール16kHG t100を充填すること。



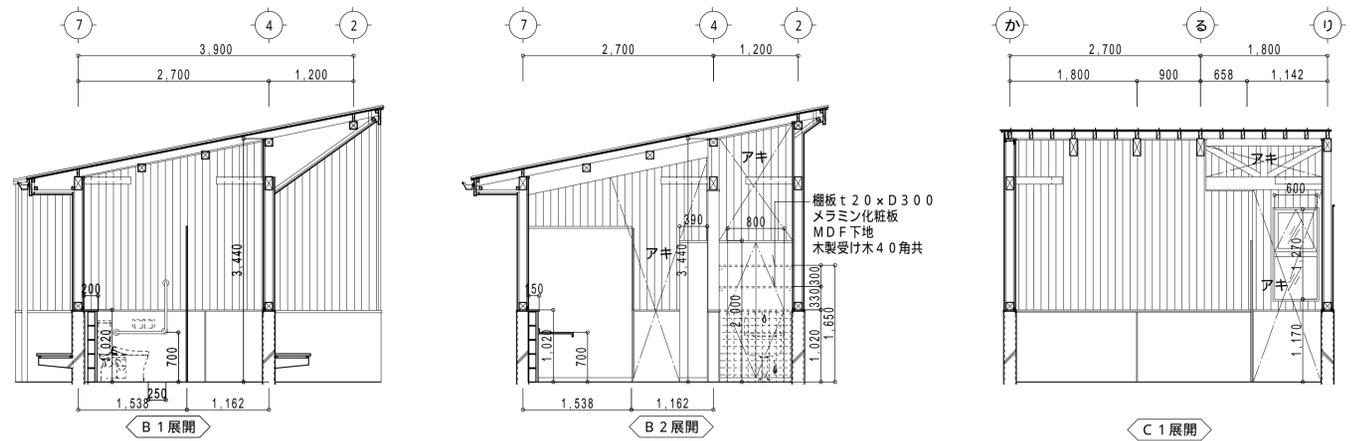
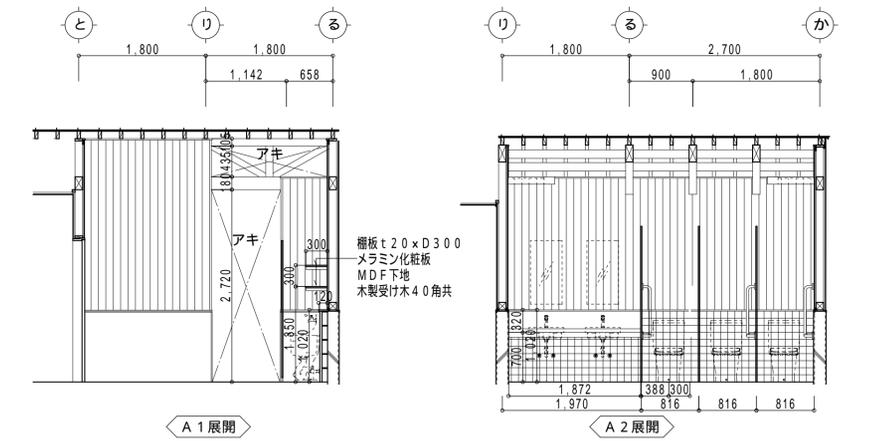
高窓 平面詳細図 S = 1 / 30



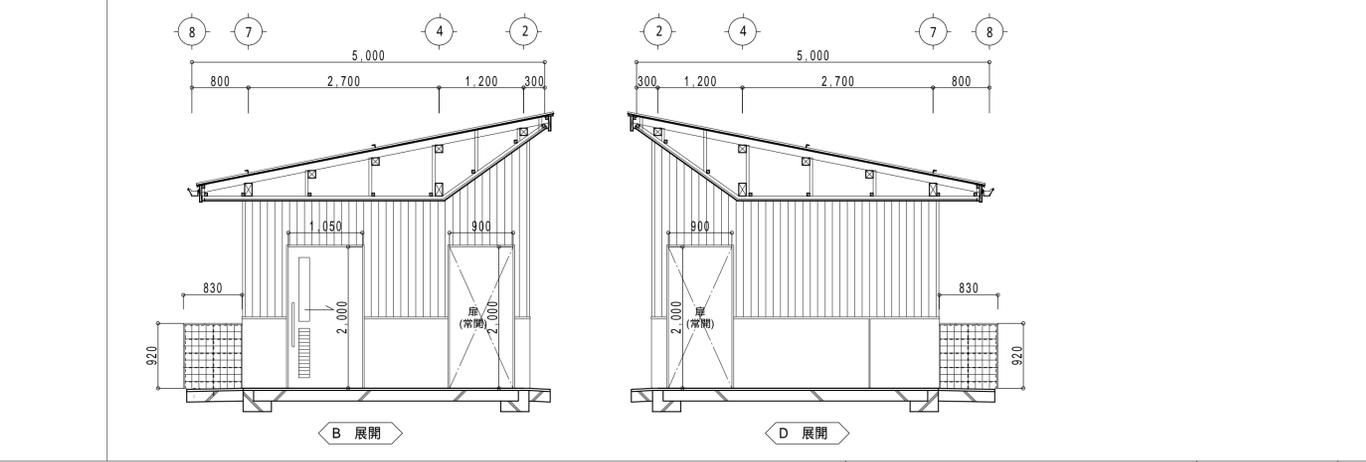
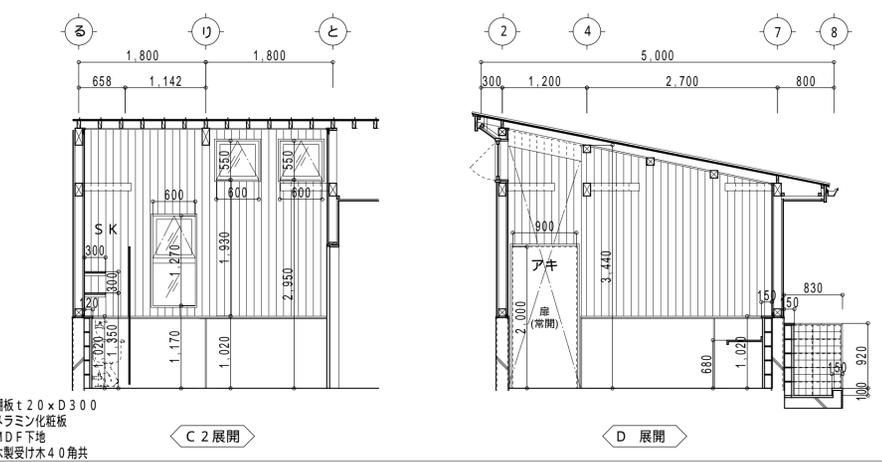
内装仕上げ	
室名	WC (男)
床	150角磁器質タイル貼り
巾木	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
腰壁	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
壁	胴縁組の上、杉板 t12 x w120 (本実加工) 羽目板張り、WP 2回塗り
廻縁	
天井	小屋裏表し、WP 2回塗り
備考	ライニング壁： 100角磁器質タイル貼り 膳板 t20 x 150、200 メラミン化粧板貼り MDF下地



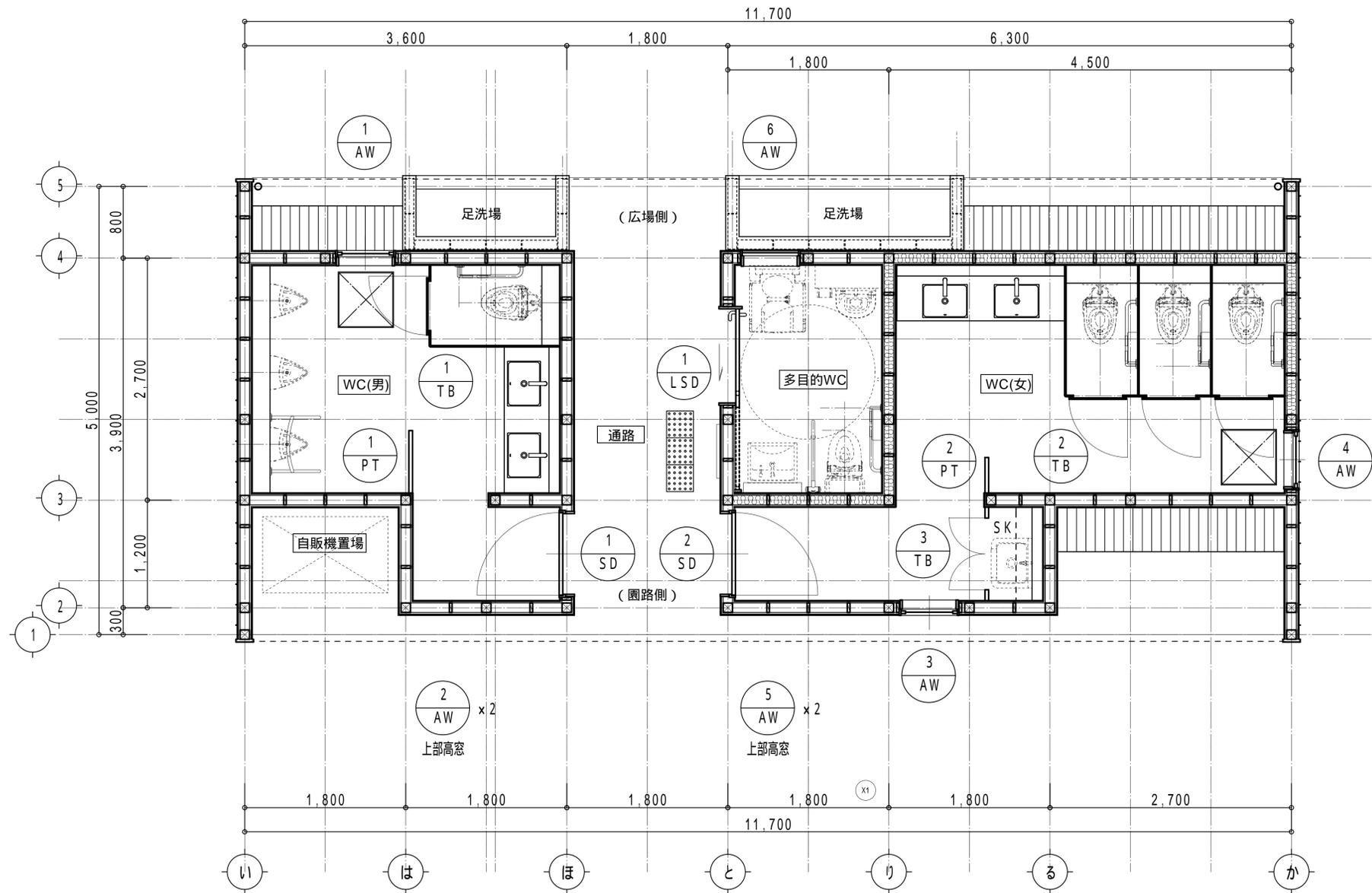
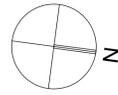
内装仕上げ	
室名	多目的WC
床	150角磁器質タイル貼り
巾木	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
腰壁	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
壁	胴縁組の上、杉板 t12 x w120 (本実加工) 羽目板張り、WP 2回塗り
廻縁	杉15角、WP 2回塗り
天井	杉 t12 羽目板張り 木製下地 木材保護剤2回塗り
備考	ライニング壁： 100角磁器質タイル貼り 膳板 t20 x 165 メラミン化粧板貼り MDF下地



内装仕上げ	
室名	WC (女)
床	150角磁器質タイル貼り
巾木	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
腰壁	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
壁	胴縁組の上、杉板 t12 x w120 (本実加工) 羽目板張り、WP 2回塗り
廻縁	杉15角、WP 2回塗り
天井	小屋裏表し、WP 2回塗り
備考	ライニング壁： 100角磁器質タイル貼り CBt100積み 膳板 t20 x 150、200 メラミン化粧板貼り MDF下地 ライニング壁 (SK)： 100角磁器質タイル貼り CBt80積み 膳板 t20 x 120 メラミン化粧板貼り MDF下地



内装仕上げ	
室名	通路
床	150角磁器質タイル貼り
巾木	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
腰壁	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
壁	胴縁組の上、能登ひば t15 x w120 (本実加工) 羽目板張り、WP 3回塗り
廻縁	
軒天	能登ひば t12 x w120 (本実加工) 羽目板張り、WP 3回塗り
備考	足洗い場 ライニング壁： 100角磁器質タイル貼り CBt100積み下地 笠木 磁器質タイル150 x 300



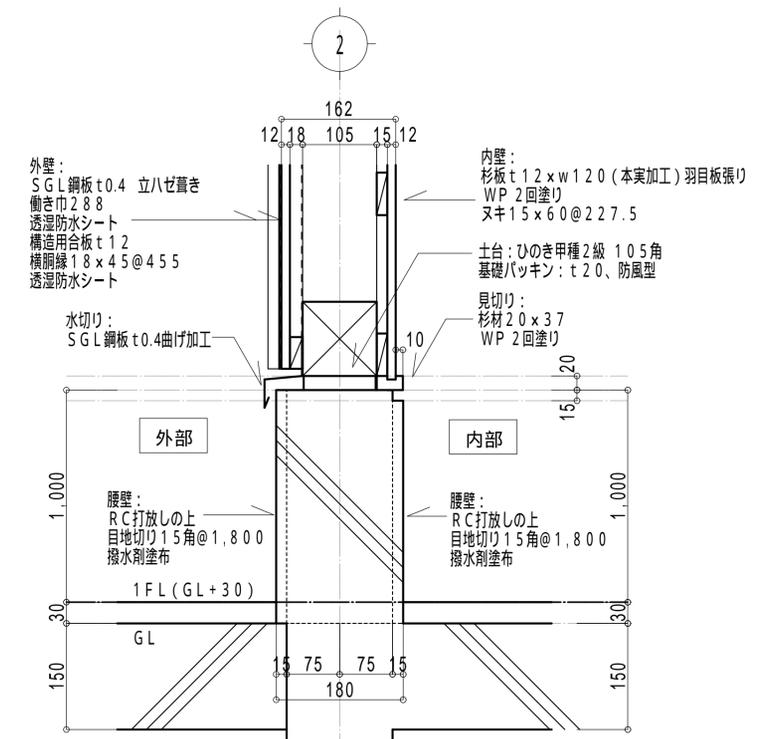
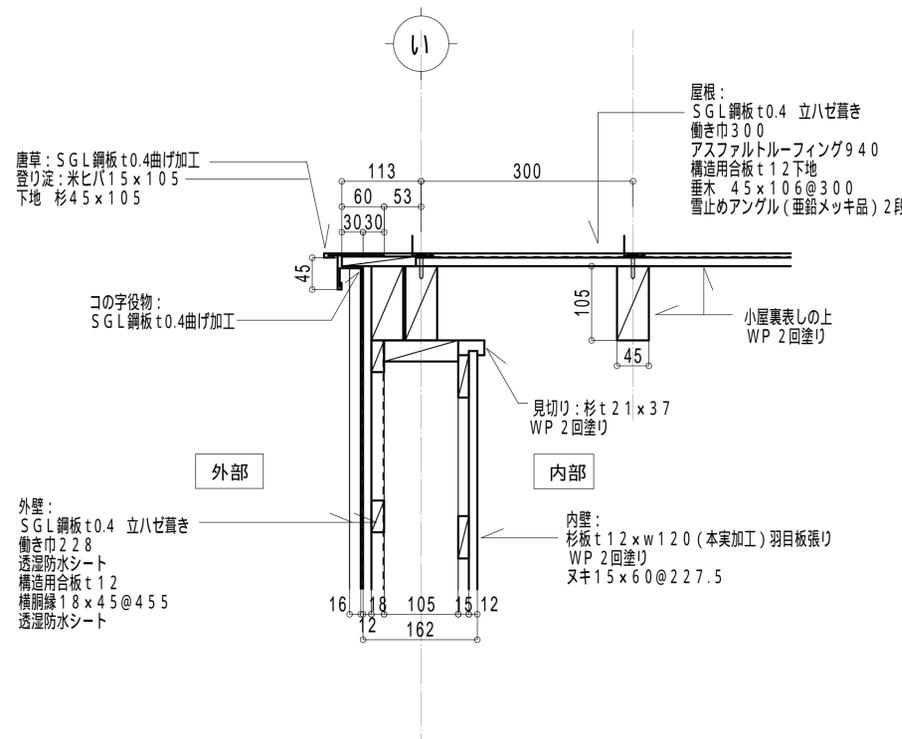
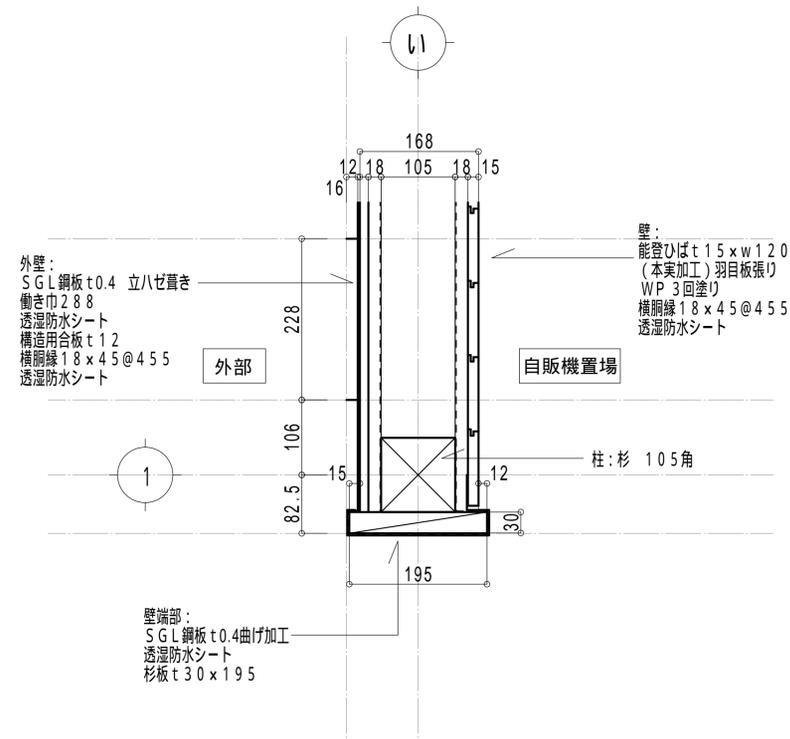
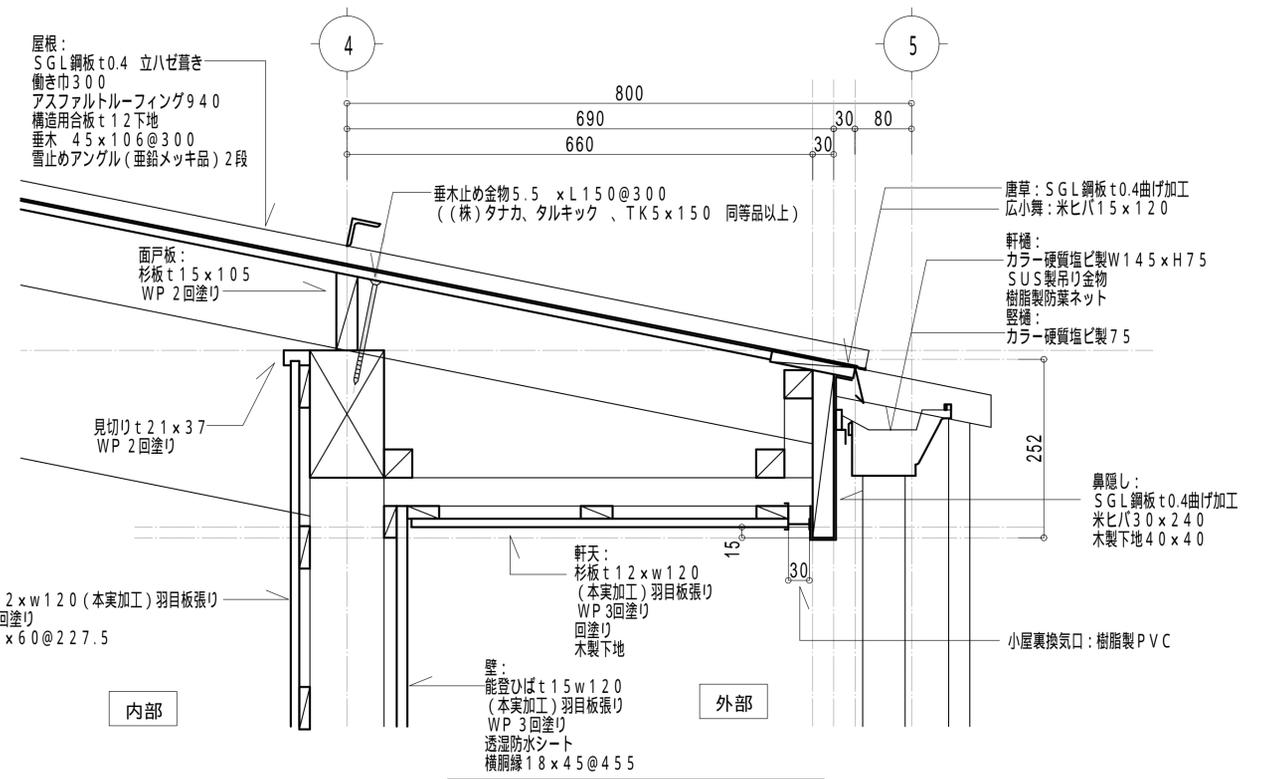
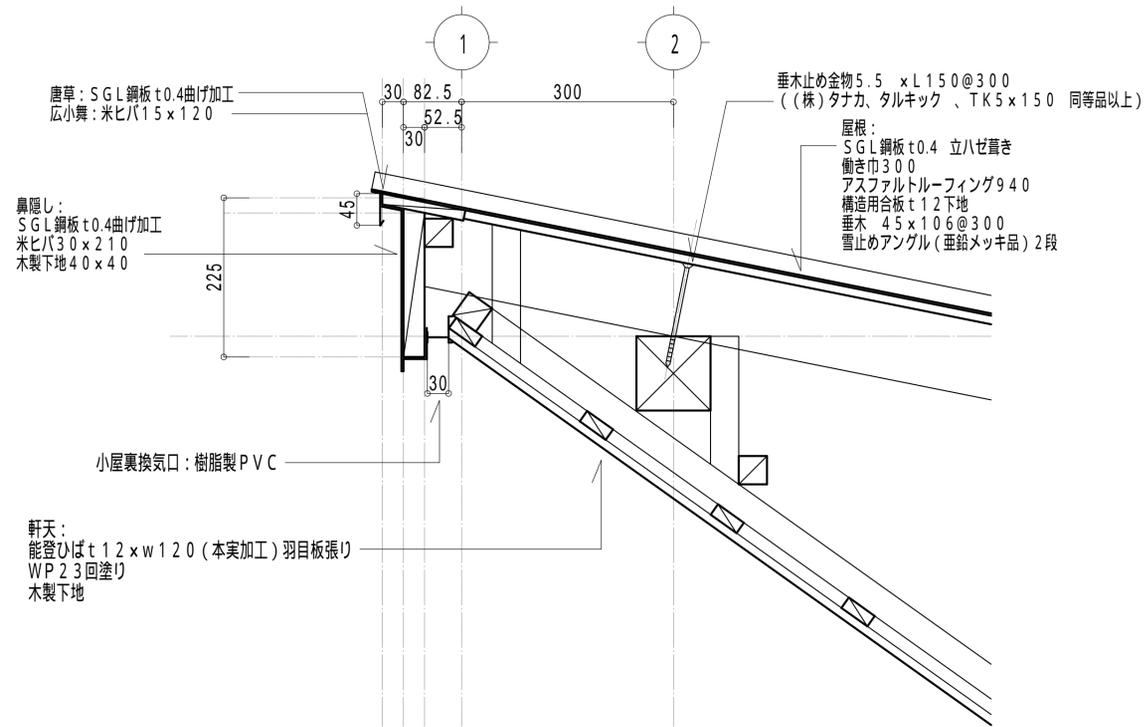
建具キープラン S = 1 / 30

凡例及び特記事項	
	アルミ製建具：ビル用サッシ 高窓オペレーター操作装置位置 (FL+1, 200)
	スチール製建具
	軽量スチール製建具
	トイレブース 伊藤忠 同等品以上 メラミン系フェノール樹脂板 コーナーR型シール
	トイレブース 伊藤忠 同等品以上 メラミン系フェノール樹脂板 コーナーR型シール

表示略号				枠の標準形状 (特記なき限り○印の形状を採用する)				扉厚寸法 (扉厚は下記強度基準及び召し合せ部の形状の他、金物の納まり等を考慮して決定するものとする)							
種類	見込みの大きさによる種類			形状による種類			S D 及び S S D	W D	3 6 mm (H = 1 8 0 0 mm未満、扉一枚の幅 = 9 0 0 mm以下)	L D	4 0 mm (H = 2 4 0 0 mm未満、扉一枚の幅 = 9 0 0 mm以下)	H	3 6 mm	P	2 4 mm (戸ふすまは3 0 mm)
	大枠	小枠	普通枠	F B 枠	特殊枠	隠し枠									
A D	アルミ製扉	S G	鋼製ガラリ	P	透明フロートガラス										
A G	アルミ製窓	S S G	ステンレス製ガラリ	F	型板ガラス										
A W	アルミ製ガラリ	W G	木製ガラリ	F W	網入フロートガラス										
A C W	アルミカーテンウォール	S S	鋼製シャッター	P W	網入型ガラス										
A T P	アルミトップライト	S S H	ステンレス製シャッター	T	強化ガラス										
S D	鋼製扉 (1.6mm以上)	F S	シート(不燃布)製シャッター	D S	倍強度ガラス										
S W	鋼製窓	G S B	ガラス製固定防煙垂れ壁	H R	熱線反射ガラス										
S S D	ステンレス製扉	F S B	シート製巻き込み防煙垂れ壁	H A P	熱線吸収フロートガラス										
S S W	ステンレス製窓	S	鋼製三方枠(扉なしアキ開口部)	H A R	熱線吸収反射ガラス										
S W D	鋼製枠木製扉	S L W	スライディングウォール	Low-E	Low- ガラス										
S W W	鋼製枠木製障子窓	S F	鋼製枠	G B	ガラスブロック										
L S D	鋼製軽量扉 (0.8mm以上)	S P T	鋼製パーテーション	耐熱	耐熱強化ガラス (特)										
O H D	オーバーヘッドドア	C S S	シートシャッター	耐熱 G B	耐熱ガラスブロック (特)										
S H D	鋼製ハンガードア	T B	トイレブスク		(特) : 特定防火設備用認定品 金物										
H	ふすま														
P	紙障子				PH	ピボットヒンジ									
W D	木製扉				D C	ドアクローザー									
W W	木製窓				O P R	オペレーター									
建具の性能と記号				建具記号				標準事項							
(特) 特定防火設備 (常時閉鎖式) (特) 特定防火設備 (随時閉鎖式、煙感知器連動) (防) 防火設備 (常時閉鎖式) (防) 防火設備 (随時閉鎖式、煙感知器連動) < 令112条第14項第一号・二号適合 >				建具の種類記号 # 一 建具の防火性能記号 整理番号				・ 建具は詳細部の施工図作成の上、設計者の承認を受けること。 ・ 建具金物は見本品提出の上、設計者の承認を受けること。 ・ ドアチェックはバラレ型とする。室外側にドアチェックが取り付けられる場合は監理者と協議の上決定する。 ・ ドアチェックはストッパー付きを原則とする。但し防火区画上の防火扉はストッパー無しとする。 ・ 壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を1 0 0 mm程度とする。 ・ 鉄部の仕上げは特記以外は内部をS O P、外部に面するものをフッ素樹脂塗装とする。 ・ 特記なき限り、鋼製扉の番摺はS U S 3 0 4 ( t - 2 . 0 mm、t - 1 . 5 mm) 製とし、内部をモルタル充填とする。 ・ アルミサッシの附属金物は原則としてサッシと同色同仕上とする。 ・ 窓開口部には原則として結露受 ( サッシュと同材、同仕上) を取り付けること。 ・ 排煙用オペレーター装置はワンタッチ式とする。 ・ オペレーター装置の配線、配管及びボックスは埋込型とする。 ・ オペレーター装置の清拭及びワイヤーは室内から見えないよう納める。 ・ 排煙窓の自動開放装置 ( クレセント及び操作レバー類を含む) の位置は床面から8 0 0 mm H 1 5 0 0 mmとする。 ・ 排煙突出し窓及び排煙用A T Pの開き角度は4 5 °以上とする。 ・ 防火扉及び延焼範囲内の扉 / 壁に付くD G / ガラリはヒューズダンパー付きとする。 ・ 特記なき限り鋼製建具のガラリはt - 1 . 6とする。 ・ 外部に面するガラリはS U S製防鳥金網ネット ( # 1 6 x 1 0 mm程度) を取り付け。 ・ ダクト接続のガラリには四方枠 ( 垂鉛メッキ鋼板 t 2.3加工、外部に面する場合はフッ素樹脂塗装、室内の場合はS O P) を取り付け、四方枠廻りを断熱材吹き付けとする。 ・ シャッターは全て安全装置付きとする。 ・ シャッター及び昇降式防煙垂壁は特記以外電動昇降装置付きとする。 ・ 電動シャッターは手動併用、防火 / 防煙 / 防火防煙シャッターは手動開閉装置付とする。 ・ 避難口となる風除室の自動扉は非常時手動開放可能な機構とする。 ・ 施設は原則として片面シリンドラ 片面サムターンとする。 ・ キーは全て耐ピンキック仕様 ( 財) 全国防犯協会連合会C P認定品) とする。 ・ 熱吸 / 熱反 / Low- / 耐熱強化等のガラスは実サンプルにて色味の確認を行い、設計者の承認を得るものとする。 ・ 網入りガラスの小口は、トップライトの場合はビニールテープ貼り、その他の場合は防錆塗装貼りとする。 ・ 両開扉及び親子開扉の防火扉は順位調整機構とする。							
ガラリの形状				召合わせ部の形状 (特記なき限り○印の形状を採用する)				特記事項							
室内ガラリ ドアガラリ ドアガラリ (スリット型) 固定ガラリ F B化粧ガラリ 外部に面するガラリ				一般扉 吸収型防火扉 自由開扉				A T 産 S A T 産							
形状 開口率 : 3 0 - 4 0 % (特記なき限り・印の形状を採用する)				形状 開口率 : 3 0 - 4 0 % (特記なき限り・印の形状を採用する)				形状 開口率 : 3 0 - 4 0 % (特記なき限り・印の形状を採用する)							
								・ 一般アルミサッシはR C 枠 + 外縁縁【 Y K K A P エクシマ3 1 同等品、詳細図参照】とする ・ 外壁裏面現し建具取付部分は建具枠と胴縁間をアルミ t 2.0もしくはスチールP L t 2.3塞ぎを設ける ・ 外部アルミサッシ水切りには立上り付き小口フタを設けて外壁雨タレ防止対策を施す ・ オペレーターは隠蔽タイプ、過負荷防止機能付とし、取り付け芯高さH = 1 2 0 0とする ・ 網戸はガラスファイバー製 (黒) とする ・ 収納式網戸はロール式とする ・ 外部に面する飛散防止フィルムの厚みは消防有無認定に適合するもの (厚1 0 0 μ m以下) とする ・ 仕入り窓の開放角度は9 0 °以上、突き出し窓の開放角度は4 5 °以上とする。							

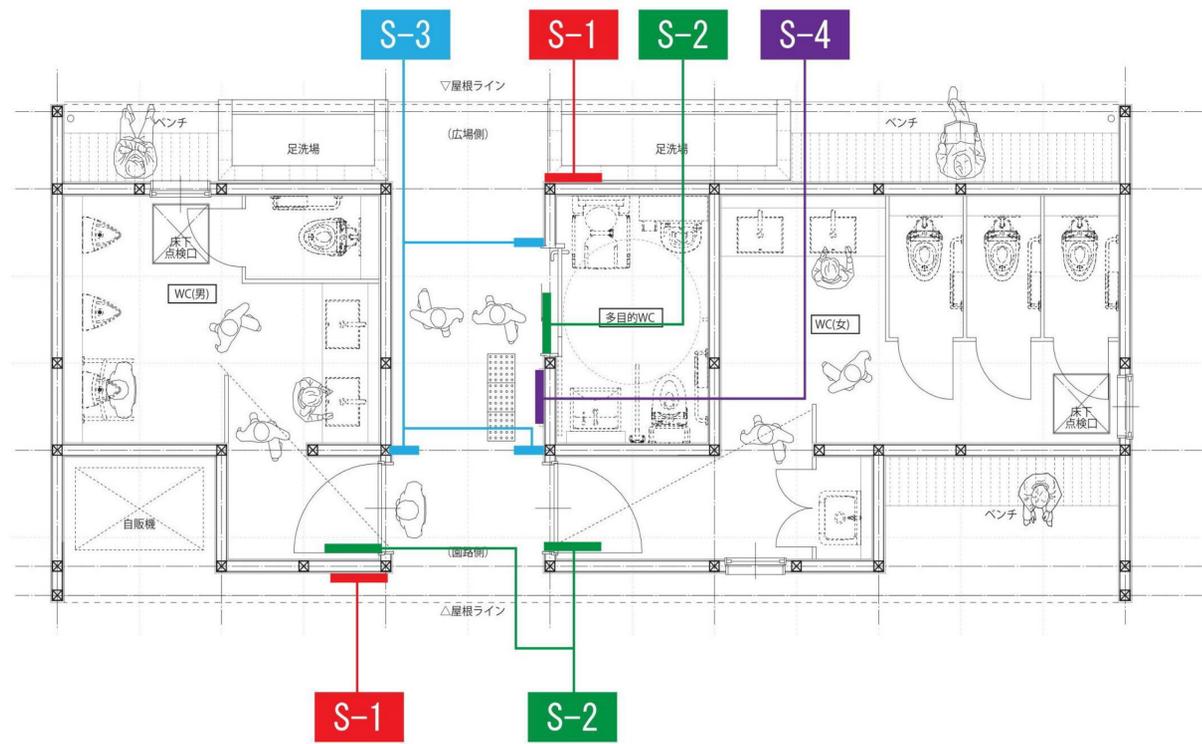
符号	数量	1 / S D × 1	2 / S D × 1	1 / L S D × 1	1 / A W × 1	2 / A W × 2	3 / A W × 1	4 / A W × 1	5 / A W × 2
図									
場所・防火仕様		WC (男)	WC (女)	多目的WC	WC (男)	WC (男)	WC (女)	WC (女)	WC (女)
材種・見込		表面処理鋼板 t 1.6 焼付塗装 (指定色) / 4 0	表面処理鋼板 t 1.6 焼付塗装 (指定色) / 4 0	表面処理鋼板 t 1.6 焼付塗装 (指定色) / 4 0	アルミ / 7 0	アルミ / 7 0	アルミ / 7 0	アルミ / 7 0	アルミ / 7 0
勝手		片開き (常開)	片開き (常開)	ハンガー片引き戸	仕り出し窓 + F I X 窓	仕り出し窓	仕り出し窓 + F I X 窓	仕り出し窓 + F I X 窓	仕り出し窓
ガラス				型ガラス t 4 . 0	型ガラス t 4 . 0	型ガラス t 4 . 0	型ガラス t 4 . 0	型ガラス t 4 . 0	型ガラス t 4 . 0
金物		取付金物一式、S U S 製丁番、ケ-ムド-ル、S U S 製番摺 外シリダ-錠、内シリダ-錠、ド-アフィッ、戸当り、ワ-ズ落とし	取付金物一式、S U S 製丁番、ケ-ムド-ル、S U S 製番摺 外シリダ-錠、内シリダ-錠、ド-アフィッ、戸当り、ワ-ズ落とし	駆動取付金物一式、S U S 製引き棒 内大型サムターン (非常解錠表示付)	型ガラス t 4 . 0 高窓操作オペレーター装置 (隠ぺい型)				
備考				アルミ製片山ガラリ (焼付塗装、指定色)	オペレーター装置設置位置FL + 1,500				

符号・数量	$\frac{6}{AW} \times 1$	$\frac{1}{TB} \times 1$	$\frac{2}{TB} \times 1$	$\frac{3}{TB} \times 1$	$\frac{1}{P} \times 1$	$\frac{2}{P} \times 1$
図						
場所・防火仕様	多目的WC	WC(男)	WC(女)	WC(女) SK	WC(男)	WC(女)
材種・見込	アルミ / 70	メラミン系フェノール樹脂板 / 16	メラミン系フェノール樹脂板 / 16	メラミン系フェノール樹脂板 / 16	メラミン系フェノール樹脂板 / 16	メラミン系フェノール樹脂板 / 16
勝手	FIX窓	外開き戸	外開き戸	両開き戸	目隠しパーティション	目隠しパーティション
ガラス	型ガラス t4.0					
金物	アングル、取付金物一式	SUS製笠木、SUS製巾木、支脚(黄銅)	SUS製笠木、SUS製巾木、支脚(黄銅)	SUS製笠木、SUS製巾木、支脚(黄銅)	SUS製笠木、SUS製巾木、支脚(黄銅)	SUS製笠木、SUS製巾木、支脚(黄銅)
備考		ゲデ'テ化'ン' (SUS304HL)、戸当り帽子掛け、打掛錠(表示錠)	ゲデ'テ化'ン' (SUS304HL)、戸当り帽子掛け、打掛錠(表示錠)	グラビティヒンジ(SUS304HL)	壁・コーナーレール(アルミ製)	壁・コーナーレール(アルミ製)
符号・数量		クリアバンパー、壁・コーナーレール(アルミ製)	外開き戸当り、クリアバンパー、壁・コーナーレール(アルミ製)	外開き戸当り、クリアバンパー、壁レール(アルミ製)		
図						
場所・防火仕様						
材種・見込						
勝手						
ガラス						
金物						
備考						
符号・数量						
図						
場所・防火仕様						
材種・見込						
勝手						
ガラス						
金物						
備考						



記号	K-1 洗面カウンター S=1:30	K-2 洗面カウンター S=1:30	K-3 L型手摺 S=1:30	K-4 背もたれ S=1:30
形状寸法				
数量	1	1	5 (WC(男): 1、WC(女): 3、多目的WC: 1)	1
位置	WC(男)	WC(女)	WC(男)、WC(女)、多目的WC	多目的WC
材種	人工大理石カウンター(マーブライトカウンター同等品)	人工大理石カウンター(マーブライトカウンター同等品)	心材-SUS304 外形 34 樹脂被覆品	背もたれ: 発泡ウレタン フレーム: 塗装仕上げ鋼管
金物	専用ブラケット、付属金物一式	専用ブラケット、付属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
硝子				
塗装				
記号	K-5 跳ね上げ手摺 S=1:30	K-6 小便器用手摺 S=1:30	K-7 化粧鏡 S=1:30	K-8 棚板 S=1:30
形状寸法				
数量	1	1	5 (WC(男): 2、WC(女): 2、多目的WC: 1)	1
位置	多目的WC	WC(男)	WC(男)、WC(女)、多目的WC	S Kブース内
材種	心材-SUS304 外形 34 樹脂被覆品	心材-SUS304 外形 34 樹脂被覆品	耐食鏡 t5.0	メラミン化粧板フラッシュ
金物	附属金物一式	附属金物一式	SUS4方フレーム	棚板固定金物
硝子				
塗装				
記号	K-9 ライニング天板 S=1:30	K-10 ライニング天板 S=1:30	K-11 ライニング天板 S=1:30	
形状寸法	<p>K-9-1 D200×L2,540 1箇所 K-9-2 D200×L900 1箇所 K-9-3 D200×L800 3箇所</p>	<p>K-10-1 D150×L1,600 1箇所 K-10-2 D150×L1,870 1箇所 K-10-3 D150×L600 1箇所</p>	<p>K-11 D120×L1,035 1箇所</p>	
数量	-	-	-	
位置	各WC	各WC	各WC	
材種	メラミン化粧板、MDF下地	メラミン化粧板、MDF下地	メラミン化粧板、MDF下地	
金物				
硝子				
塗装				

■プロット図



S-1	トイレピクトサイン	2
S-2	トイレサイン(扉面)	3
S-3	トイレサイン(突き出し)	3
S-4	トイレ案内サイン	1

**S-1 トイレピクトサイン** S=1/10 数量 2 基

仕様：t3.0 SUS 切り出し加工（焼き付け塗装仕上げ）

S=1/100

**S-2 トイレサイン (扉面)** S=1/20 数量 3 基

仕様：インクジェットプリント貼

S=1/50

**S-3 トイレサイン (突き出し)** S=1/5 S=1/10 数量 3 基

表示：t3.0 アクリル板+インクジェットプリント貼  
ブラケット：スチール加工塗装仕上げ

**S-4 トイレ案内サイン** S=1/10 数量 1 基

仕様：t3.0 アルミ複合板+インクジェットプリント貼 +UV 触知図  
※MAP は仮の意匠です。



木場町

7.400

 山岸建築設計事務所 Yamagishi Architects + Engineers	設計年月日	2021.03	工事名	木場湯公園東園地トイレ棟建設工事(建築)	図番	A-24
	一級建築士事務所 一級建築士第334429号 山岸敬広	設計	製図	訂正	整理 2034	標題 全体配置図